

Joie™

ジョイー・チャイルドシート

i-Spin 360 Max

アイスピン 360 マックス

取扱説明書／保証書

ECE R129/03 適合

【後ろ向きモード時】

適応月齢 -4 歳頃まで

適応身長 40cm-105cm

適応体重 2.5kg-19kg まで

【前向きモード時】

適応月齢 生後 15 ヶ月 -4 歳頃まで

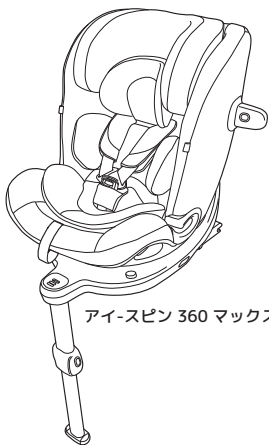
適応身長 76cm-105cm

適応体重 19kg まで

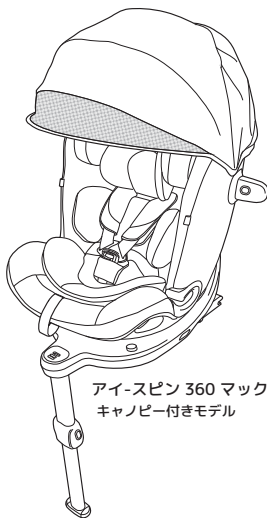
【ブースターモード時】

適応月齢 3.5 歳 -12 歳まで

適応身長 100cm-150cm



アイスピン 360 マックス



アイスピン 360 マックス
キャノピー付きモデル

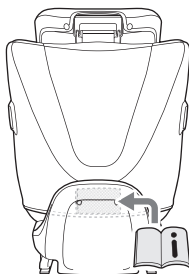


JP Welcome to Joie™

ジョイ・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品（シェル）背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



シートカバー背面下部に折り込まれている袋状の部分に収納します

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	5
正しい使用	5
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	6
適合する自動車の座席について	6
本製品の情報	7
表記の説明	8
内容物の確認	9
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	11
自動車の座席に関して	13
使用可能な座席の位置と向き	13
使用できない座席	14
使用上の注意事項	18
緊急時の操作	28
基本的な使いかた	29
サイドインパクトプロテクションの使いかた	29
バックルの使いかた	30
インファントインサートの使いかた	31
肩ベルト（ハーネス）の長さ調節	34
リクライニングの使いかた	35
ヘッドサポートの高さ調節	36
本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し	37
3 点式シートベルトのみで使用する場合の設置	49
シェルの回転	52
キャンピー（キャンピー付きモデルのみ）	58
ブースターモードへの切り替えかた	61
後ろ向きモード、前向きモードでのお子さまの乗せかた	67
準備と確認	67
お子さまの乗せかたと降ろしかた	68
ブースターモードでのお子さまの乗せかた	75
準備と確認	76
乗せかた	77
お手入れのしかた	84
股ベルトカバー、インファントインサート、肩ベルトパッド、	
カバー類の取り外し	85
股ベルトカバー、インファントインサート、肩ベルトパッド、	
カバー類のお手入れ	93
本体（ベース・シェル）のお手入れ	95
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	98
保管のしかた	98
廃棄のしかた	98
保証書	102

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートです。3種類のモードに切り替えて使用することができますが、それぞれのモードにより使用に関わる条件が定められています。

各モードの使用においては以下の使用条件が定められており、また、お子さまが以下の条件を満たしている必要があります。

【後ろ向きモード使用時】

- 1：シェルを自動車の進行方向に対して後ろ向きに固定
- 2：ISOFIX 固定装置を使用
- 3：お子さまは本製品のハーネスを装着
- 4：身長 40cm-105cm まで / 体重 2.5kg[※]-19kg まで
およそ 4 歳頃まで使用可能

※在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

【前向きモード使用時】

- 1：シェルを自動車の進行方向に対して前向きに固定
- 2：ISOFIX 固定装置を使用
- 3：お子さまは本製品のハーネスを装着
- 4：生後 15 ヶ月を超えてから使用可能
- 5：身長 76cm-105cm まで / 体重 19kg まで
およそ 4 歳頃まで使用可能

【ブースターモード使用時】

- 1：シェルを自動車の進行方向に対して前向きに固定
- 2：ISOFIX 固定装置を使用 / または 3 点式シートベルトで固定[※]
- 3：お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを装着
- 4：3.5 歳から 12 歳まで使用可能
- 5：身長 100cm-150cm まで

※ ISOFIX 固定装置が装備されている座席では、ISOFIX 固定装置の使用をお勧めします。

使用するモードにより、使用可能なお子さまの範囲が異なりますので、ご注意ください。

ポイント!

後ろ向きモードと前向きモードでは、いずれも本製品のハーネスをお子さまに装着して使用します。

前向きモードでの使用が可能になるのは、お子さまが生後 15 ヶ月を超え、身長が 76cm 以上になってからになりますが、前向きモードの使用可能な最終期まで後ろ向きモードでも使用することができます。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、当社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態時には、お子さまを直ちに応急処置して医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の当社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

ISOFIX 固定装置を使用しての取り付け

1. 本製品は、ECE R129/03 によって認証された i-Size チャイルド・レstraint・システム（チャイルドシート）です。原則として自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席に固定して使用することができます。
2. i-Size 対応と示されていない自動車や座席でも使用可能な場合がありますので、当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。
3. i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
4. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

自動車の 3 点式シートベルトを使用しての取り付け

自動車の 3 点式シートベルトと ISOFIX 固定装置を使用しての取り付け

1. 本製品は、ECE R129/03 によって認証された i-Size チャイルド・レstraint・システム（ブースターシート / チャイルドシート）です。原則として自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席に固定して使用することができます。
2. i-Size 対応と示されていない自動車や座席でも使用可能な場合がありますので、当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。
3. i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
4. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料 : プラスチック / 金属 / 縫製品

パテント No. : 特許出願中

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示します。
	禁止事項を示します。

強調・禁止の表記について

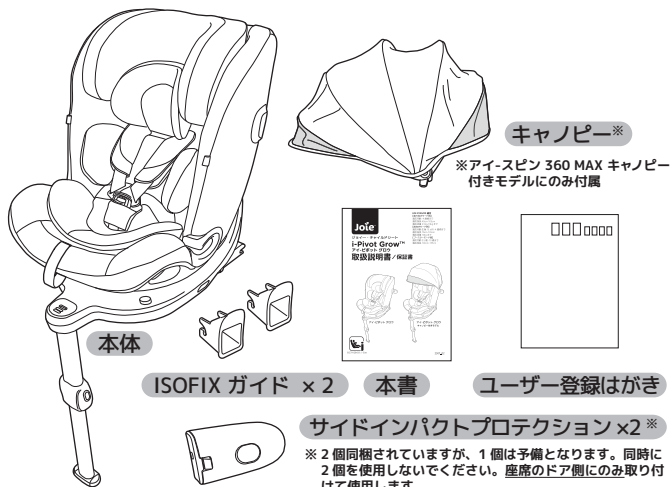
表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

内容物の確認

本製品には次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないものや破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



警告

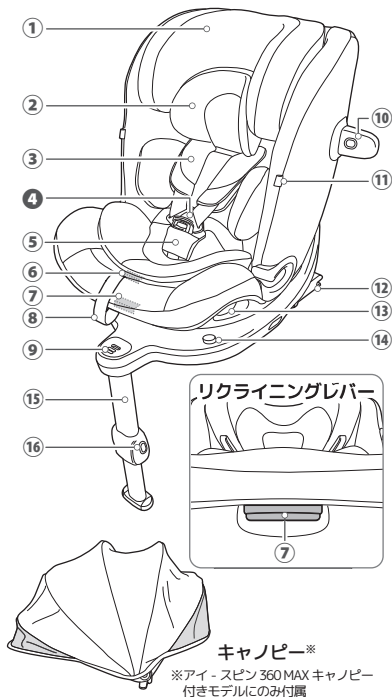
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

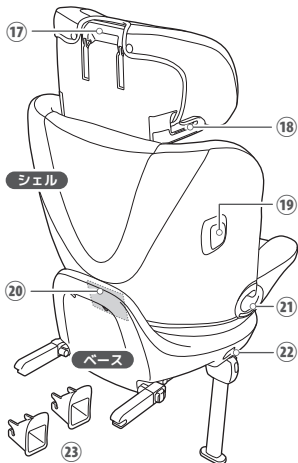
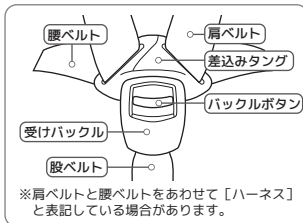
各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



4 バックル/ハーネス

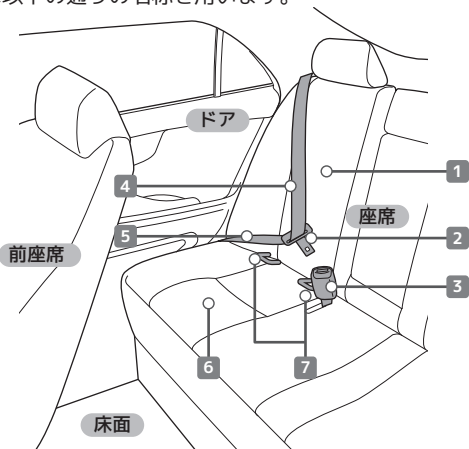


- | | |
|------------------------|--------------------|
| ①ヘッドサポート | ⑬回転レバー |
| ②インファントインサート | ⑭回転ロックボタン |
| ③肩ベルトパッド | ⑮サポートレッグ |
| ④バックル/ハーネス | ⑯サポートレッグアジャストボタン |
| ⑤股ベルトカバー | ⑰ヘッドサポートアジャストレバー |
| ⑥ベルトアジャスター | ⑱肩ベルトガイド |
| ⑦リクライニングレバー | ⑲ SIP スロット |
| ⑧アジャストベルト | ⑳取扱説明書ホルダー |
| ⑨サポートレッグインジケーター | ㉑腰ベルトパス |
| ⑩サイドインパクトプロテクション (SIP) | ㉒ ISOFIX アジャスターボタン |
| ⑪差込みタング用スロット | ㉓ ISOFIX ガイド |
| ⑫ ISOFIX コネクター | |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及しているカ所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

- 1 (座席) 背もたれ
- シートベルト
- 2 シートタング
- 3 シートバックル
- 4 シート肩ベルト
- 5 シート腰ベルト
- 6 (座席) 座面
- 7 ISOFIX 固定装置



ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準（ECE R129/03）によって定められています。

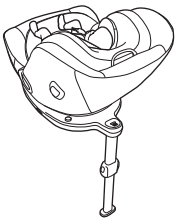
使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。

それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合および条件に当てはまらない状態では使用しないこと
各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

後ろ向きモード

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して後ろ向き
	取り付け方法	ISOFIX+サポートレッグ
	お子さまの固定	本製品のハーネス
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	身長60cmまでの使用を強く推奨
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	40cm-105cm
	体重	2.5 ^{※1} -19kgまで
	年齢/月齢	0 ^{※1} -4歳頃まで使用可能 ^{※2}

※ 1 在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

※ 2 年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。

前向きモード

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して前向き
	取り付け方法	ISOFIX+サポートレッグ
	お子さまの固定	本製品のハーネス
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	使用できません
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	76cm-105cm
	体重	19kgまで
	年齢/月齢	15ヵ月-4歳頃まで使用可能 [※]

※ 15 ヶ月を超えるまで使用不可。使用可能終期の 4 歳は目安です。

ブースターモード

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して前向き
	取り付け方法	3点式シートベルト+ISOFIX固定装置 +サポートレッグ
		3点式シートベルト+サポートレッグ
	お子さまの固定	3点式シートベルト
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	使用できません
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	100cm-150cmまで
	年齢/月齢	3.5歳-12歳まで使用可能

⚠危険

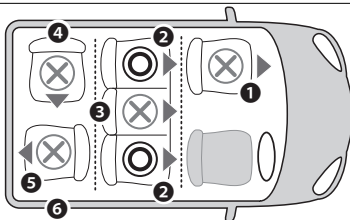
シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで使用すること

本製品にはお子さまの乗せ降ろしをしやすくするために、自動車の座席に取り付けた状態で、シェルが回転する機能が採用されています。

チャイルドシートとして使用するには、使用できるお子さまの条件に記載の内容に従って、シェルを後ろ向きまたは前向きで確実に固定してください。横向きや斜め向きの状態では絶対に使用しないでください。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① 助手席 | × 使用不可※ 1 |
| ② 2 列目左右ドア側席 | ○ 使用可能※ 2 |
| ③ 2 列目中央席 | × 使用不可 |
| ④ 進行方向に向かって横向きの座席 | × 使用不可 |
| ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 | × 使用不可 |
| ⑥ 3 列目以降の左右座席 | ○ 使用可能※ 2 |

※ 1 使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※ 2 ISOFIX 固定装置が装備され、かつ自動車の床面に本製品のサポートレッグが安定して接地する座席でのみ使用することができます。

ブースターモードでの使用時のみ、ISOFIX 固定装置がない座席でも使用可能です（3 点式シートベルトは必須）。

本製品は自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能です。諸条件により使用を推奨しない場合や使用できる機能に制限が生じる場合があります。

i-Size 対応でない座席でも使用することができる場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

適合車種一覧は、以下のホームページでご確認いただけます。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

⚠危険

使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。座席がこの位置と向きにあり、かつその他の条件を満たした場合のみ使用可能です。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。天井高や床面の制限により i-Size 対応の座席でも使用できない場合があります。ご購入前、ご使用前に適合車種一覧をご確認ください。

助手席

当社ではチャイルドシートの助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には、チャイルドシートが急激に押し出されるため非常に危険です。



本製品の取り付け操作中に動く座席

本製品の取り付け操作中に前後に動く、背もたれの角度が変化する座席には取り付けしないでください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けできません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



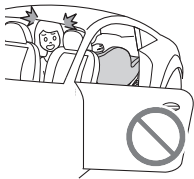
本製品または車両や座席の操作により、本製品と車内の構造物が干渉する座席

本製品はお子さまの乗せ降ろしを容易にするためシェルが回転するようになっており、また、お子さまがより快適に過ごせるようにシェルがリクライニングする機構を採用しております。これら本製品の機構の操作や、車両の操作（座席の位置移動やリクライニングなど）により、本製品および車内の構造物が干渉する座席での使用はお控えください。本製品の取り付けは可能であっても、これらの干渉により、本製品や車内の構造物が破損するなどして安全に機能しなくなるおそれがあります。



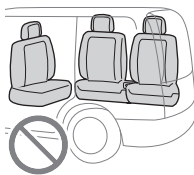
乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では取り付け使用できません。



⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時も想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

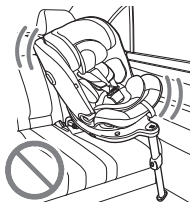
本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付けや使用ができない座席では、使用しないでください。



パッシブシートベルトが装備された座席

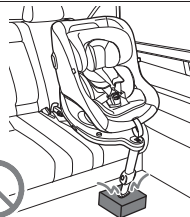
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

自動車のドアの開閉操作や可動式座席の操作に干渉する座席

本製品を、ドアや可動式座席の動きに干渉する座席に取り付けると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付け状態に影響をおよぼすおそれがあります。

床面に構造物や段差があるなど、サポートレッグが安定して安全に接地しない座席

本製品は、すべてのモードでサポートレッグを使用します。サポートレッグは安定して安全に自動車の床面に接地させる必要がありますので、床面に収納ボックスなどの構造物やサポートレッグに干渉する段差がある座席、床面に十分な強度がない座席では使用できません。



⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

日常的な使用時に干渉する座席

日常的なチャイルドシートの使用において、本製品の操作時、自動車の座席を動かした際、自動車のドアの開閉時に、本製品と自動車の構造物、可動部が干渉する座席では使用しないでください。

ISOFIX 固定装置を装備していない座席（後ろ向きモード、前向きモードの場合）

本製品は、後ろ向きモードと前向きモードでは自動車の ISOFIX 固定装置を使用します。ISOFIX 固定装置のない座席ではこれらのモードでは使用することができません。ブースターモードでは、ISOFIX 固定装置がない座席でも使用可能ですが 3 点式シートベルトが必要となります。

仕様が異なる ISOFIX 固定装置の座席

ISOFIX 固定装置が装備されていても本製品が使用可能とは限りません。

年式の古い車種においては、使用可能なチャイルドシートを指定している場合があります。

本製品は、後ろ向きモードと前向きモードでは、本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ取り付け可能です。

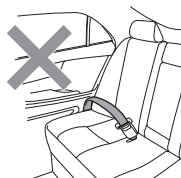
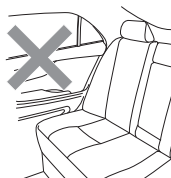
またブースターモードでも、ISOFIX 固定装置を使用する場合は本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている必要があります。ISOFIX 固定装置の仕様については、自動車の取扱説明書をご確認ください。



3 点式シートベルトの装備されていない座席（ブースターモードの場合）

ブースターモードでのご使用の場合、自動車の 3 点式シートベルトが必要になります。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2 点式シートベルト、5 点式シートベルトでも使用できません。ブースターモードにおいて ISOFIX 固定装置を使用する場合も同様です。

ブースターモードは、必ず 3 点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本取扱説明書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付け、使用すること
本書の指示にない使いかたはしないでください。使用するモードに応じて、本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。正しく固定されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。後ろ向き、前向き、ブースター、それぞれのモードに使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

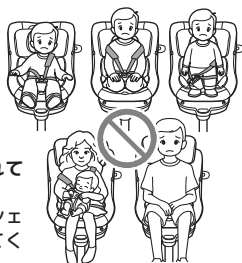
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしても、お子さまには本製品を操作をさせないでください。また、第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



取扱説明書は本製品背面の取扱説明書ホルダーに入れておくこと

いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常にシート背面の取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、使用するモードに応じて本書の指示に従って取り付け、固定します。本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



後ろ向きモード、前向きモードでは3点式シートベルトを使用しません

3点式シートベルトはブースターモードでのみ使用します。後ろ向きモード、前向きモードでは3点式シートベルトを本製品の固定やお子さまの固定の補強に使用しないでください。

本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと
それぞれのモードにおいて、本製品を自動車の座席に取り付けるために必要な部位、部品（ISOFIX 固定装置、ISOFIX コネクター、3点式シートベルト、サポートレッグなど）に異常がある場合は本製品を使用しないでください。



お子さまの固定に関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

後ろ向き、前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。ハーネスやバックルに異常が認められる場合は本製品を使用しないでください。

ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。自動車のシート肩ベルトやシート腰ベルト、シートタングやシートバックルに異常が認められる場合、その座席では本製品を使用しないでください。

⚠危険

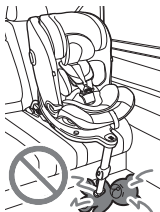
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用、ブースター用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

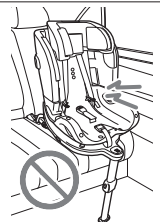
指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用しないこと

本製品はベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能なくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないこと

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

指定以外の耐荷重点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



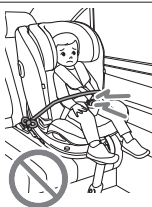
本製品の座席（シェル）は、後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで使用する

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、後ろ向き、前向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。実際に使用する場合は、座席（シェル）は、**後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。**座席（シェル）を横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



指定する方法以外でお子さまを固定しないこと

後ろ向き、前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。お子さまの固定のために、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。またお子さまを正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネスやシートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



ハーネス、3点式シートベルトを正しく調節して装着すること
使用するモードに応じて、ハーネスまたは3点式シートベルトを**正しく調節して、ねじれがないことを確認して使用します。**ハーネスまたはシートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節して常にハーネスのバックルまたはシートベルトのバックルを留めておくようにしてください。

本製品の固定やお子さまの装着するベルト類にねじれやゆるみが生じないようにすること

使用するモードに関わらず、お子さまが装着するハーネスまたはシートベルトおよび本製品の取り付け、固定、使用に関わるベルト類にはねじれがないようにしてください。また、本書において締め付けるように指示されているベルト類にゆるみがないことを確認してご使用ください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重、月齢により使用期間が定められていますが、正しい範囲内でもお子さまの体型、体格により、本製品や着衣を調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

短距離、短時間の移動でもチャイルドシートを使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

生後 15 ヶ月までは後ろ向きモードでのみ使用可能

お子さまが生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きモードで使用してください。前向きモードや、ブースターモードにして使用しないでください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

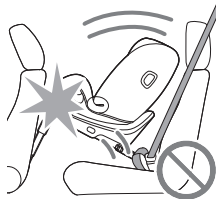
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は保証の対象外となり、また安全性が担保できないため修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には ISOFIX 固定装置で自動車の座席に固定するなどして適切な方法で固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

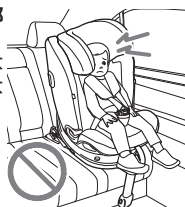


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取り外した状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。

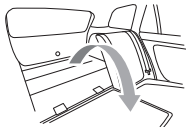


走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には必ず本製品が適切な状態にあるかどうか確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ハーネスのバックルまたはシートベルトのバックルが正しく留まっているか、ハーネスまたはシートベルトが正しい状態にあるか、**適宜確認すること**

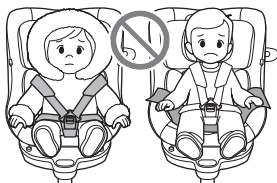
後ろ向きモード、前向きモードの場合には本製品のバックル、ブースターモードの場合にはシートベルトのバックルにお子さまが触れるとバックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。また、お子さまの体動によりハーネスやシートベルトの装着状態に異常が生じていないかについて**適宜確認する**ようにしてください。



不適切な着衣で使用しないこと

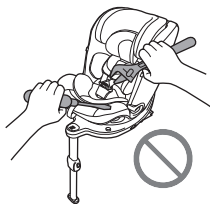
お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を本製品に追加して取り付け使用しないでください。



指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

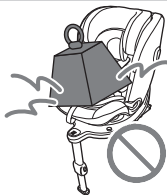
本製品のカバー類やソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシート、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

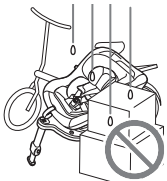


いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に本製品に注油してはいけません。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置、3 点式シートベルトを清潔に保つこと
ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置、3 点式シートベルトに、食べかすや汚れ、ほこりが付着しているとチャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと
お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合にはサポートレッグが開かないようにサポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

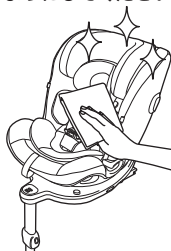


注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

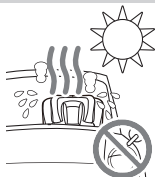
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

ハーネスなどベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと
本製品を持ち上げる際にハーネスを持ったりソフトパッド、生地部分を掴むなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はサポートレッグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でも常にバックルを留めておくようにしてください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるようにしてください。

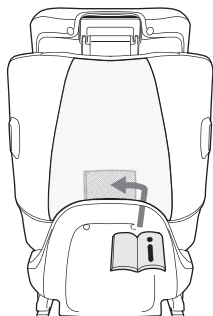
疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

本取扱説明書は本製品の所定の場所に収納して常時携行してください

必要なときにいつでも参照できるように本取扱説明書はシェル背面のカバー（メッシュ部分）の内側にある、同じくメッシュ生地の袋状の部分に入れておいてください。

袋状の部分は、メッシュ生地内に折り込んでおいてください。

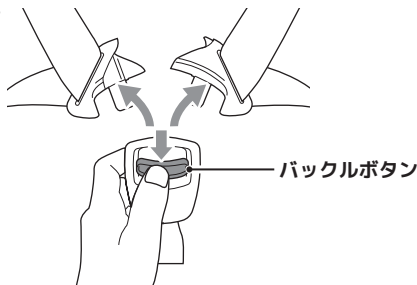


**背面のメッシュ生地の内側
袋状の部分に収納します**

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンまたは自動車のシートバックルを操作して、ハーネスまたはシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に本製品のハーネスやシートベルトにお子さまが絡まらないように注意してください。バックルが機能しない場合は市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させるか、後ろ向き、前向きモードで使用している場合は、本製品の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から外して本体ごと脱出させてください。



基本的な使いかた

ここでは、各モードに共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせてご使用ください。

危険

適切に使用すること

不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い、適切に使用してください。

サイドインパクトプロテクションの使いかた

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションが同梱されています。

サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で本製品シェルの自動車のドア側に取り付けてください。

実際にご使用になる前に、サイドインパクトプロテクションを取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないか、本製品のシェルを回転した際にドアや座席に干渉しないかを確認してください。サイドインパクトプロテクションがドアにあたったり、干渉する場合は取り外して本製品を使用してください。

注意

シェルの向きに注意してください

サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。本製品はシェルを回転させて後ろ向き、または前向きで使用するので、本製品を使用するモードに応じて左右を確認してサイドインパクトプロテクションを取り付けてください。

中央席側（他の乗員側）には取り付けないでください

事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員にサイドインパクトプロテクションがあたりケガをするおそれがあります。

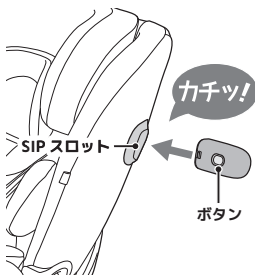
ポイント!

本製品にはサイドインパクトプロテクション（SIP）が2個、同梱されていますが、2つ同時に使用しないでください。1つは予備となります。使用方法是前記に従い、ドア側のシェルにのみ取り付けます。

01

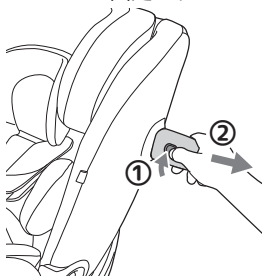
取り付けるには、サイドインパクトプロテクションを取り付ける側の SIP スロットに、サイドインパクトプロテクションのボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。

「カチッ」と音がして、サイドインパクトプロテクションが固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、サイドインパクトプロテクションのボタンを①押しながら、②引き抜きます。



バックルの使いかた

後ろ向きモード、前向きモードでは本製品のバックルを使用します。

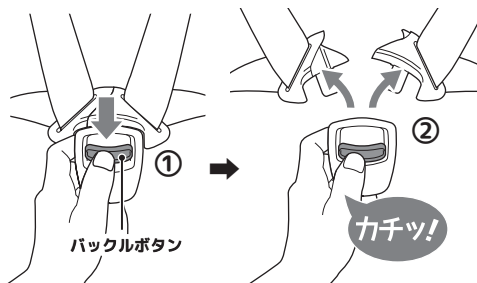
ポイント!

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておいてください。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って、①バックルボタンを押します。②カチッと音がして左右の差込みタングが外れます。



⚠注意

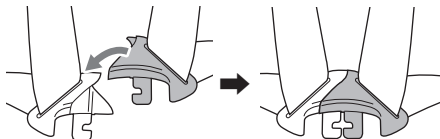
バックルは握って操作してください

直接バックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あらかじめハーネスを少しゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

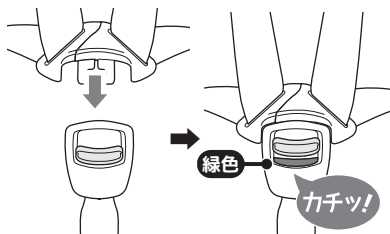
01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



02

そのまま差込みタングを受けバックルに差し込みます。カチッと音がするまで差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



⚠危険

必ずバックルの状態を確認すること

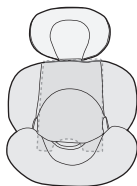
差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

インファントインサートの使いかた

インファントインサートは後ろ向きモードで使用します。身長 60cm までのお子さまには、インファントインサートを取り付けた状態でのご使用を強く推奨します。





前向きモードではインファントインサートは使用できません
前向きモードで使用する際には、インファントインサートを取り外してください。

インファントインサートの外しかた

01

あらかじめバックルを外して、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

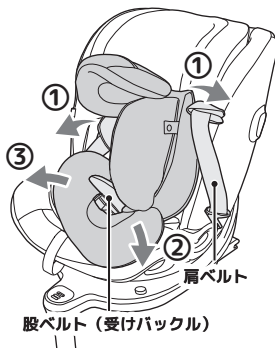
02

①左右の肩ベルトをインファントインサートから抜き取り、②股ベルト（バックル/股ベルトパッド）をインファントインサートの通し穴から抜いて、③インファントインサートを取り外します。

03

インファントインサートの取り付けは逆の手順で行います。

ハーネスを十分にゆるめて、インファントインサートが浮かないようにしっかりと奥に押し込むようにしてください。



ポイント!

インファントインサートの取り外しの際に股ベルトカバーが外れる場合があります。その場合には、以下を参照して股ベルトカバーを取り付けなおしてください。

参照 P85 ▶股ベルトカバー▶ 01



股ベルトカバーは必ず取り付けなおしてください

後ろ向きモードまたは前向きモードで使用する場合、股ベルトカバーは必ず取り付けてください。

インファントインサートのお手入れ

インファントインサートはお手入れのために分解することができます。



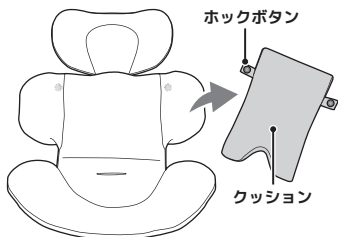
警告

インファントインサートは正しく組み立てた状態で使用してください

お手入れ後は、インファントインサートを正しく組み立ててお使いください。

01

ヘッドパッドは、ボディポーションの裏側のホックボタン（2カ所）で固定されています。ホックボタンを取り外してヘッドパッドを取り外します。



ヘッドパッド

ホックボタン

クッション

ボディポーション

02

クッションは、ボディポーションの裏側のホックボタン（2カ所）で固定されています。ホックボタンを取り外してクッションを取り外します。

ポイント!

クッションは洗濯することができません。

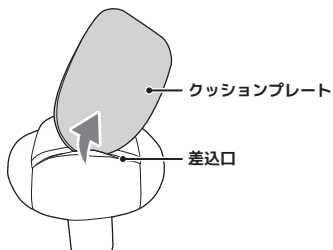
03

ヘッドパッドには、クッションプレートが内蔵されています。クッションプレートは洗濯できませんので、お手入れの際にはクッションプレートを取り外してください。

ヘッドパッドの裏側にある差込口からクッションプレートを取り出します。

クッションプレートを取り付ける場合

は、クッションプレートの樹脂面を差込口側、ウレタン面を表側にして差込んでください。



⚠注意

クッションプレートを傷つけないように注意してください

クッションプレートの取り外し、取り付けはクッションプレートを傷つけないようゆっくりと慎重に行ってください。

肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

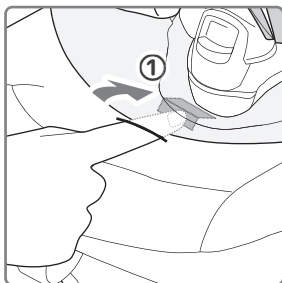
⚠危険

肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること

肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

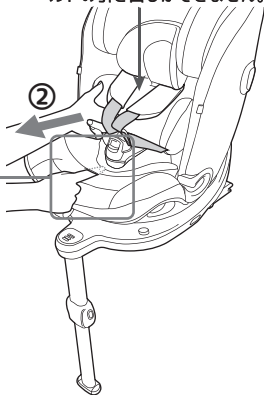
01

肩ベルトをゆるめるには、①シート前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



ベルトアジャスターは、切れ込みの中にあります。外側からは見えません。

肩ベルトを持って引き出します。
肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができません。





ポイント!

インファントインサートを取り付けている場合、ベルトアジャスターの穴はインファントインサートの下側になります。インファントインサートの前端部を少しめくるようにして操作してください。

02

肩ベルトを締めるには、アジャストベルトを手前に引きます。



注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。またハーネスが締めすぎると、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。

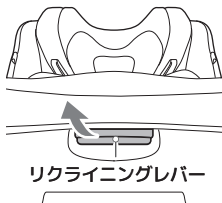


リクライニングの使いかた

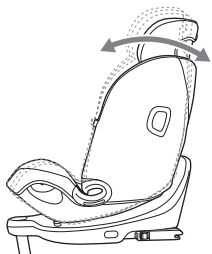
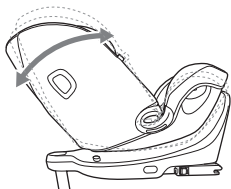
リクライニングを調節することにより、シェルの背もたれの角度を変更することができます。後ろ向きモード、前向きモードとも5段階で調節して使用することができます。

01

シェル前端部のリクライニングレバーを握り、5段階で調節します。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すとシェルの背もたれが固定されます。



リクライニングレバー



注意

角度に注意してください

お子さまの姿勢にご注意ください。首がしっかりとすわっていない間は、お子さまの頭部が傾かないよう、極端にシートの背もたれを立てないようにしてください。

ヘッドサポートの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。

ヘッドサポートの高さを調節することにより、後ろ向きモードと前向きモードではハーネスの肩ベルトの高さ、ブースターモードでは3点式シートベルトの肩ベルトガイドの高さが調節されます。

後ろ向きモードと前向きモード、ブースターモードでは、適切な肩ベルトの高さが異なりますのでご注意ください。お子さまの成長に合わせて、肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、使用するモードおよびお子さまの体格や月齢に合わせて、必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P71 ▶お子さまの乗せかたと降ろしかた▶ 06

参照 P79 ▶乗せかた▶ 04

01

後ろ向きモード、前向きモードの場合、あらかじめハーネスをゆるめておきます。

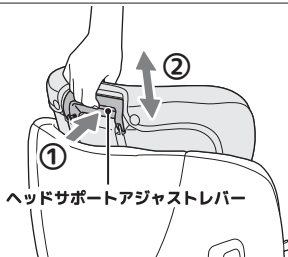
参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

👉ポイント!

ハーネスが短い状態に調節されているとヘッドサポートが上方向に動かしにくくなります。

02

ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、②ヘッドサポートを上下に調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すと、その高さでヘッドサポートが固定されます。ヘッドサポートは14段階で調節することができます。



03

ヘッドサポートは、ご使用になるモードに応じて、適切な高さに調節してください。

適切な高さに調節できたらヘッドサポートアジャストレバーから手を離し、ヘッドサポートを軽く上下に動かして、ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認してください。

参照 P71 ▶おさまの乗せかたと降ろしかた▶ 06

参照 P79 ▶乗せかた▶ 04

本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し

本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き（後ろ向きモード）または前向き（前向きモードおよびブースターモード）を切り替えて使用することができます。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向き、どちらの状態でも可能です。ここではシェルを後ろ向きの状態にしての取り付けを図示していますが前向きの状態にしての取り付け方法も基本的には同じです。

警告

本製品の ISOFIX による取り付け後、ブースターモードではおさまの乗せ降ろしを目的としてシェルを回転させないでください

ブースターモードでの使用時、シェルを回転させると 3 点式シートベルトがおさまに絡むおそれがあります。

ポイント!

シェルの回転については、以下を参照してください。

参照 P52-57 ▶シェルの回転

警告

おさまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、おさまを近づけないようにしてください。

⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

座席に取り付け痕およびキズがつくことがあります

本製品を正しく取り付けることにより、自動車の座席の表面に取り付け痕が残ったり、キズが発生する事があります。あらかじめご了承ください。

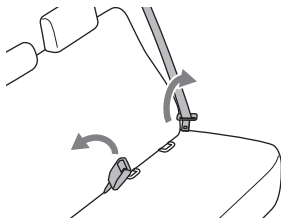
お子さまを乗せていない状態でも本製品を正しく座席に固定すること

本製品は、お子さまを乗せていない状態でも本書の指示に従い、常に正しく座席に取り付けて固定しておいてください。

取り付けかた

01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



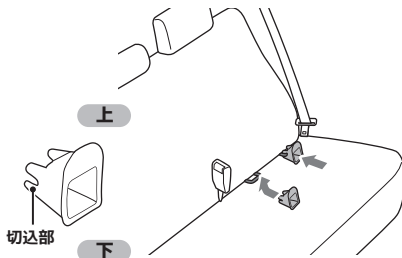
👉 ポイント!

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドにより、ISOFIX コネクターの取り付けがしやすくなります。ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



ポイント!

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

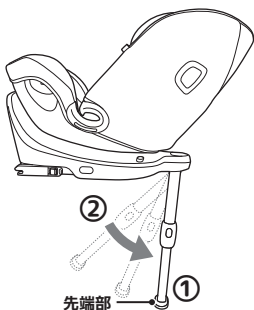
03

①サポートレッグの先端部を手で支えて、②サポートレッグを完全に開きます。

⚠注意

サポートレッグは固定されていません

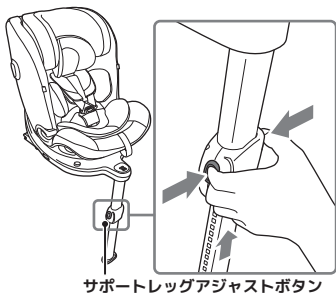
サポートレッグは閉じた状態で固定されていません。シェルを持ち上げるとサポートレッグが開いて先端部が下に引き出されますのでご注意ください。



ポイント!

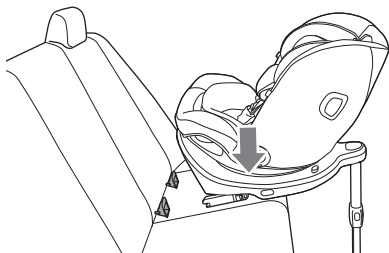
サポートレッグの先端部はサポートレッグが開くと自動的に引き出されます（安全のため自重で下に引き出されるように設計されています）。

以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合はサポートレッグの中間部にある左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんでサポートレッグの下側を短くしながら操作してください。サポートレッグアジャストボタンから手を放すとサポートレッグは自重で下に引き出されますのでご注意ください。



04

本製品を座席の座面に乗せます。



⚠注意

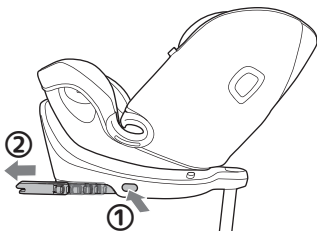
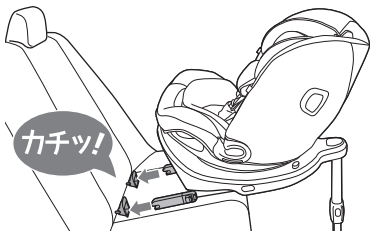
シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは所定の操作により回転させることができます。シェルは前向きまたは後ろ向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を持つとシェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。前向き、後ろ向きのどちらの向きで取り付けても、所定の操作を行うことによってシェルは回転させることができます。

05

① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。

ISOFIX コネクターは左右連動しているので、いずれか一方を引き出すと、左右とも引き出されます。



06

左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。カチッと音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

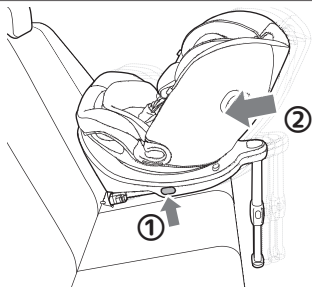
ポイント!

シート生地によっては摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。

その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

07

① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んだまま、②本製品を自動車の座席の背もたれに接するまで押します。しっかりと奥まで押し込んで、ISOFIX アジャスターボタンから指を離します。



08

サポートレッグが座席に干渉するなど、本製品を自動車の座席の背もたれに押し付けすぎた場合は ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで本製品を手前に引き出して調節してください。この際手前に引き出しすぎないように注意してください。

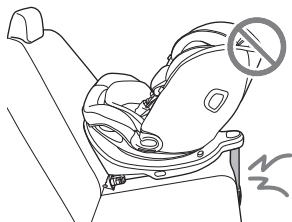
ポイント!

前向きモードでの使用時、本製品を座席の背もたれに押し付けた際に自動車の座席のヘッドレストと、本製品のヘッドサポートが干渉する場合は、ヘッドレストの角度や高さを調節するかヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せずトランクの中など安全な場所に収納してください。

警告

無理に押し込まないこと

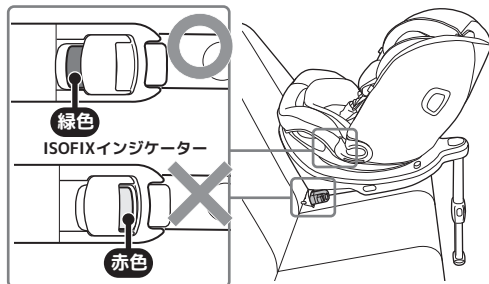
サポートレッグが座席座面先端に極端に強く押し付けられると本製品が座席座面から浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなったりするおそれがあります。



09

左右の ISOFIX インジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。**必ず左右両方とも確認してください。**

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合はもう一度操作をやりなおしてください。



⚠危険

ISOFIX コネクターは確実に固定すること

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合は本製品は正しく取り付けられていない状態ですので両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

👉ポイント!

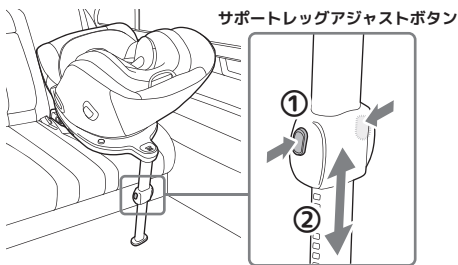
ISOFIX インジケーターを確認するため明るい場所で作業するか懐中電灯で照らすなどしてください。

10

ISOFIX インジケーターが緑色になっていることが確認できたら、本製品を前後に動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。

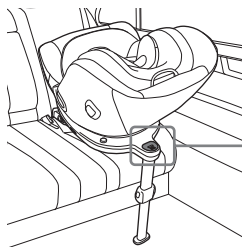
11

①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、②サポートレッグを調整します。サポートレッグを長くしすぎてベース底面の先端（サポートレッグ側）が座席座面から浮き上がらないようにご注意ください。

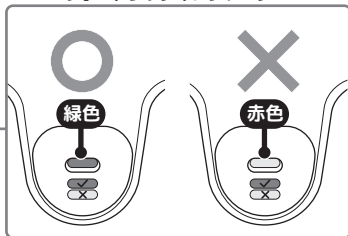


12

ベース先端部のサポートレッグインジケーターの窓の中が完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合はサポートレッグが正しく床面に接していません。サポートレッグインジケーターが緑色になるようにサポートレッグを調節してください。



サポートレッグインジケーター



ポイント!

サポートレッグの先端が床面に接地しているにも関わらずサポートレッグインジケーターが完全に緑色にならない場合は、本製品の先端部を少しだけ持ち上げてサポートレッグアジャストボタンを操作してみてください。

⚠危険

サポートレッグインジケーターが赤色の状態では使用しないこと

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合はサポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節してサポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

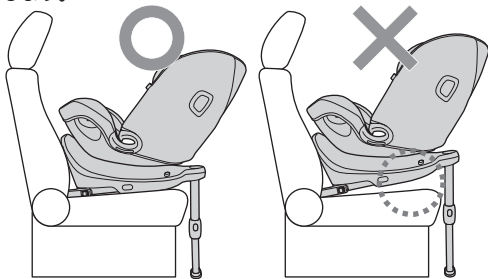
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

⚠ 警告

ベースを座面から極端に浮かせないこと

サポートレッグを調節する際にベースの底面が座面から極端に浮かないようにしてください。ベースの底面が座面に、サポートレッグの先端が床面にそれぞれ接している状態にします。



⚠ 注意

お子さまを乗せていない場合でもサポートレッグは常に正しい状態にしておくこと
お子さまを乗せていない場合でも、本製品を正しく自動車の座席に取り付けて、サポートレッグの先端は常に床面に接した状態にしておいてください。

13

念のため、もう一度ベースを手前に引いて ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定装置に固定されていることを確認してください。

14

サイドインパクトプロテクションがドアに干渉しないことを確認します。

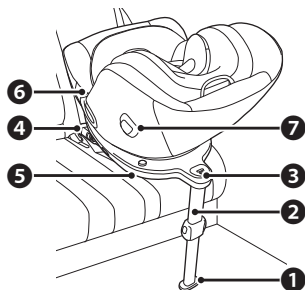
参照 P29-30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた

15

以下のチェックリストを参照して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

ポイント!

図はシェルを後ろ向きにして取り付けた場合を示していますが、シェルを前向きにして取り付けした場合でもチェック項目は同様です。



チェックリスト

- ① サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの接する床面が平らで安定していること。
サポートレッグの下や周辺に物品が置かれていないこと。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
- ④ ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ⑤ 本製品の底面が座席座面から極端に浮いていないこと。
- ⑥ 本製品がしっかりと座席背もたれ側に押し込まれていて ISOFIX コネクターがしっかりと奥まで押し込まれていること。
- ⑦ サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること。他の乗員側（中央席側）には取り付けないこと。

取り外しかた

あらかじめ、シェルを後ろ向き、または前向きで固定してください。

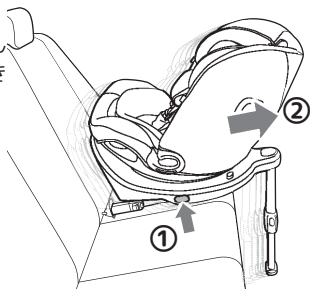
⚠注意

シェルは後ろ向き、または前向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは所定の操作により回転させることができます。シェルは後ろ向き、または前向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を操作するとシェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。

01

① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、②ベースまたはシェルを手前側に引き出します。最後まで引き出してください。

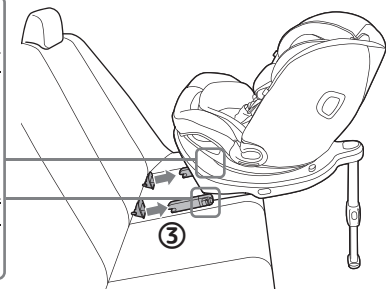
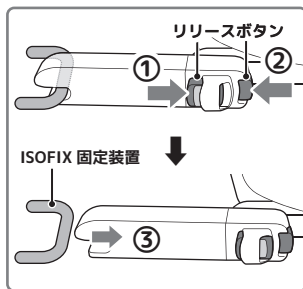


02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら同時に、②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除してベースまたはシェルを手前に引いて、③ ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から抜きます。



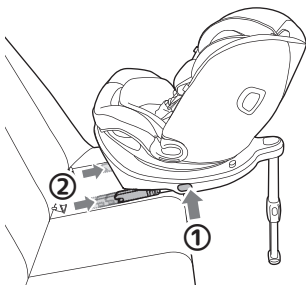
ポイント!

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながらシェルまたはベースを手前に引いて取り外します。手前に引かないと ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

ISOFIX コネクターが片側だけ外れてそれ以上の操作ができなくなった場合は、本製品を座席側に押し込んで ISOFIX コネクターを両方とも ISOFIX 固定装置に固定してから、取り外しの操作をやり直してください。

03

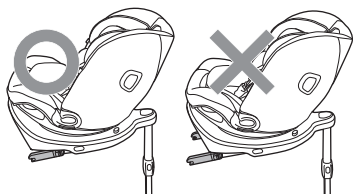
① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、② ISOFIX コネクターをベース内に収納します。最後まで収納してください。



⚠注意

ISOFIX コネクターをベース内に完全に収納しておくこと

本製品の破損やケガを防ぐためにも、本製品を自動車の座席から取り外した場合は ISOFIX コネクターはベースに収納するようにしておきます。



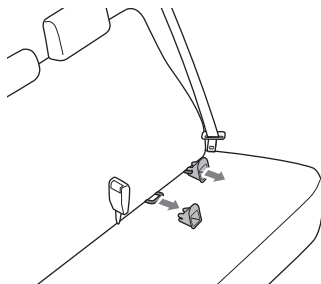
04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドをなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。座席のヘッドレストを取り外した場合は、座席に取り付けなおしてください。

⚠注意

ISOFIX ガイドは取り外しておくこと

ISOFIX ガイドの紛失や破損、また乗員のケガの原因になります。ISOFIX ガイドは、必ず座席から取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

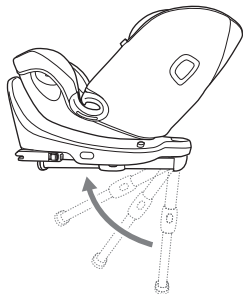


05

本製品を自動車から取り出してサポートレッグを閉じておきます。

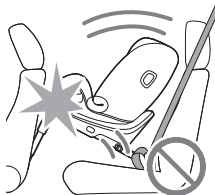
⚠注意

サポートレッグは閉じた状態で固定されません
サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。



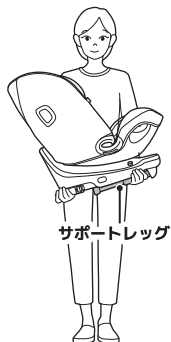
⚠警告

本製品を座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと
本製品を座席から取り外した状態で車内に置かないください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の乗員にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

本製品を持ち運ぶ際にはサポートレッグに手を添えておくこと
サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際にはサポートレッグに手を添えて持ち運ぶようにしてください。



3点式シートベルトのみで使用する場合の設置

本製品はブースターモードでの使用時に限り、ISOFIX 固定装置を使用せずに自動車の3点式シートベルトのみでも使用することができます。

なお、ブースターモードでも ISOFIX 固定装置を使用して座席に固定した上で、お子さまに3点式シートベルトを装着して使用することもできます。

⚠危険

3点式シートベルトのみでの使用はブースターモードに限りです

後ろ向きモード、前向きモードの場合は3点式シートベルトによる固定はできません。

01

あらかじめ本製品をブースターモードに切り替えておきます。

シェルは前向きにして固定しておいてください。

参照 P61-66 ▶ブースターモードへの切り替えかた

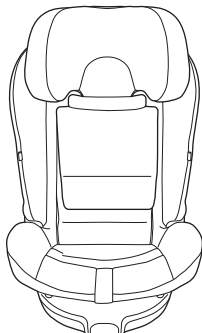
参照 P52-57 ▶シェルの回転

⚠注意

ブースターモードでの使用中は原則としてシェルを回転させないでください

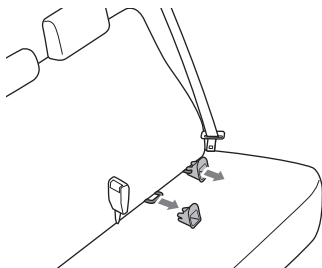
3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。



02

ISOFIX ガイドが ISOFIX 固定装置に取り付けられている場合は外しておきます。取り外した ISOFIX ガイドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



03

3点式シートベルトのみでお使いになる場合は
ISOFIX コネクターをベースに収納しておきます。

- ① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、
 - ② ISOFIX コネクターをベース内に収納します。
- 最後まで収納してください。

⚠危険

ISOFIX コネクターは必ずベース内に最後まで収納してください

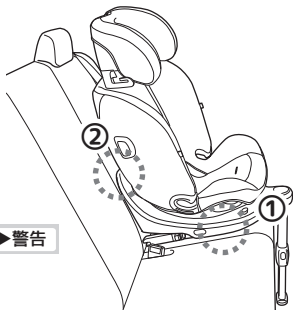
ISOFIX コネクターが引き出されていると本製品が正しく設置できず、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。3点式シートベルトのみで使用する場合は、ISOFIX コネクターをベース内の一番奥まで収納しておいてください。



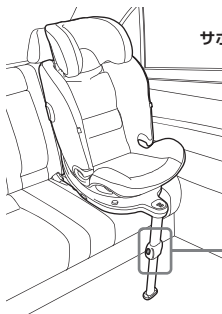
04

本製品を設置する座席の左右中央に本製品を
を前向きにして置きます。

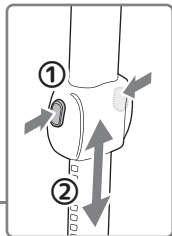
- ①ベースの底面が座席の座面に、②シェルの背部が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。ベースの底面が極端に浮かないように注意してください。



参照 P44 ▶本製品の ISOFIX による取り付け▶ 12 ▶警告



サポートレッグアジャストボタン

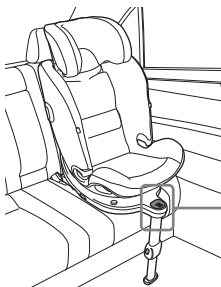


05

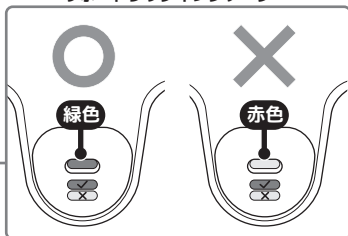
- ①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、②サポートレッグを調整します。サポートレッグを長くしすぎてベース底面の先端（サポートレッグ側）が座席座面から浮き上がらないようにご注意ください。

06

ベース先端部のサポートレッグインジケーターの窓の中が完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合はサポートレッグが正しく床面に接していません。サポートレッグインジケーターが緑色になるようにサポートレッグを調節してください。



サポートレッグインジケーター



ポイント!

サポートレッグの先端が床面に接地しているにも関わらずサポートレッグインジケーターが完全に緑色にならない場合は、本製品の先端部を少しだけ持ち上げてサポートレッグアジャストボタンを操作してみてください。

⚠危険

サポートレッグインジケーターが赤色の状態では使用しないこと

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合はサポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節してサポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

07

お子さまを乗せて使用します。

ポイント!

お子さまが3点式シートベルトを装着していない状態では、本製品は自動車の座席に固定されていないので、取り扱いにはご注意ください。
また、シェルの回転機能は使用しないようにしてください。

シエルの回転

本製品はシェルが回転することにより自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができます。

また、後ろ向きモードまたは前向きモードでご使用の場合には、お子さまの乗せ降ろしの際にシェルを回転させるとよりスムーズに乗せ降ろしができます。ブースターモードでご使用の場合、3点式シートベルトが干渉しますのでシェルは回転させないでください。

また、後ろ向きから前向き、前向きから後ろ向きの操作手順は、安全のため一部異なりますのでご注意ください。

ポイント!

キャンपी付きモデルの場合、車種や取り付けの状態、リクライニングの状態によっては、回転時にキャンピーが干渉することがあります。そのような場合は、キャンピーを取り外して回転させてください。

シェルは、左右どちらの方向にも回転させることができます。

⚠ 危險

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまがシートベルトにひっかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まれている状態になっていると、万一事故に繋がることがあります。また、サイドインパクトプロテクションがシートやドアに引っかかって破損することがあります。ケガをすることがありますので、シェルを回転させる際には安全を確認してゆっくりと回すようにしてください。



前向きでの使用には制限があります

前向きでの使用するためには、おさまが所定の条件を満たす必要があります。以下を参照して正しくお使いください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶前向きモード

シェルは向きを決めて固定して使用すること

本製品はお子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、お子さまの身長、体重、月齢に応じて座席（シェル）を、前向き、後ろ向きいずれかの向きで確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横や斜めに向けた状態では絶対に使用しないでください。



⚠警告

走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

可動部に手指を置かないこと

お子さまや操作をされる方、または第三者がシェルの回転時に手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際はお子さまの安全だけではなく、回転操作をする方も安全を確認して可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。



⚠注意

ブースターモードでは原則としてシェルを回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。

回転操作は本製品を座席に取り付けてから行うこと

シェルの回転操作は本製品を座席に固定した状態で行います。固定されていないとシェルが思わぬ動きをすることがあります。

回転操作は注意して行ってください

操作する方やお子さまが、手足を挟んだりシートベルトにからむなどしてケガをするおそれがあります。回転操作は安全を確認して慎重に行ってください。

持ち上げや持ち運びの際に回転レバーにご注意ください

回転レバーを押し上げると、シェルとベースの固定が解除されます。このため、回転レバーに手を掛けてシェルを持ち上げると、ベースが回転してケガをするおそれがあります。本製品を持ち上げる際や持ち運ぶ際は、シェルを後ろ向きまたは前向きで固定した上、ベースをしっかりと持つようにしてください。

シェルは常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定しておいてください。自動車の走行中にシェルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

無理に回転させないこと

座席やドア、車内の構造物に干渉して回転できない場合は無理に回転させないでください。座席やドア、車内の構造物に傷がついたり本製品が破損するおそれがあります。

自動車の座席の調整

本製品を正しく取り付け付けた状態でスムーズにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。

シェルの回転時に座席の背もたれやヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。その場合は以下のように対応してください。

スムーズに回転する場合には以下の操作は必要ありません。

ヘッドレストと干渉する場合

座席のヘッドレストの高さを調節するか、または取り外してください。
この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かずに必ず自動車のトランクなど安全な場所で保管するようにしてください。

ヘッドレストが外せない、または調節できない場合

座席の背もたれと干渉する場合

ISOFIX コネクターを操作して本製品を座席の背もたれから少し離してからシェルを回転させてください。

回転後は必ず ISOFIX アジャスターボタンを操作して本製品を背もたれに押し込んでください。

参照 P46 ▶取り外しかた▶ 01 ※最後まで引き出す必要はありません

参照 P40-43 ▶取り付けかた▶ 07-12

 ポイント!

この操作を繰り返すと座席の座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。

注意

コンソールに干渉する場合は、回転機構は使用できません

座席の左右にコンソールや肘置きがあり、回転時にシェルが干渉、接触する座席で本製品の回転機構は使用しないでください。

後ろ向きから前向きへの回転

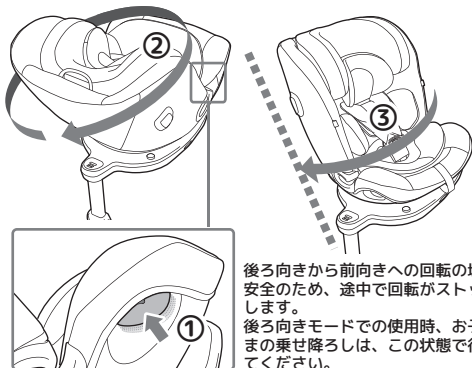
危険

生後 15 ヶ月までは後ろ向きモードでのみ使用可能

シェルを後ろ向きから前向きに回転させる場合に、途中で回転がストップするのは安全のためです。前向きでの使用は生後 15 ヶ月を超えてかつ身長が 76cm 以上になってからとなります。誤ってシェルを前向きにしないように、後ろ向きから前向きへの回転時にのみ、途中で回転がストップする構造になっています。

01

シェル側面の左右いずれかの①回転レバーを押し上げて、②シェルの回転させます。後ろ向きから前向きへの回転の場合、③途中で回転がストップします。



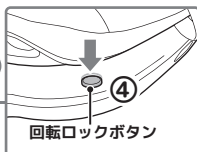
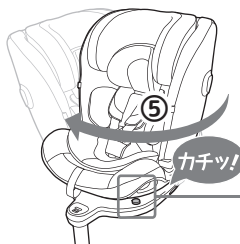
02

お子さまを乗せ降ろしする場合はドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので乗せ降ろしの際はご注意ください。



03

前向きモードに切り替えたい場合は、そのまま④回転させる側の回転ロックボタンを押し込んで回転ロックを解除して、⑤シェルが前向きになるように回転させます。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されていることを確認してください。



ポイント!

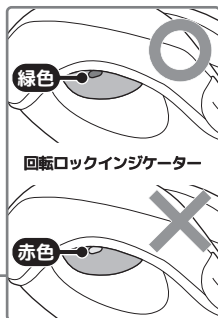
回転させる側の回転ロックボタンを操作します。反対側の回転ロックボタンを押しても回転ロックは解除されません。

04

前向きに回転させたら、回転レバーの回転ロックインジケーターが緑色になります。赤色の場合は回転が不十分などの理由によりシェルが固定されていないので、回転ロックインジケーターが緑色になるように操作し直してください。

ポイント!

回転ロックインジケーターはシートカバーに隠れて見えにくい場合があります。シートカバーを少しめくり上げると見やすくなります。



05

シェルを左右に動かして、シェルが動かないことを確認してください。

前向きから後ろ向きへの回転

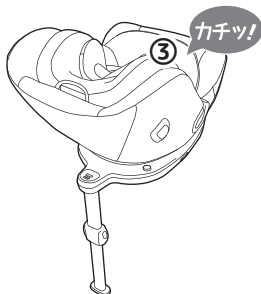
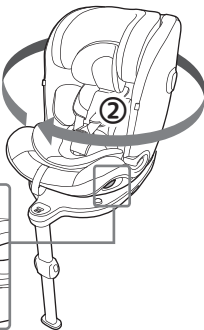
01

基本的な操作は、後ろ向きから前向きへの回転と同様です。後ろ向きへの回転の場合は、途中でストップすることなく回転させることができます。前向きモードでの使用中、お子さまを乗せ降ろしする場合は後ろ向きになるまで回転させず、横向き状態で乗せ降ろししてください。

シェル側面の左右いずれかの①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。③カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されていることを確認してください。

ポイント!

前向きから後ろ向きに回転させる場合、回転ロックボタンは使用しません。

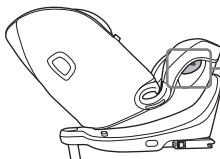


02

後ろ向きに回転させたら、回転レバーの回転ロックインジケーターが緑色になります。赤色の場合は回転が不十分などの理由によりシェルが固定されていないので、回転ロックインジケーターが緑色になるように操作し直してください。

ポイント!

回転ロックインジケーターはシートカバーに隠れて見えにくい場合があります。シートカバーを少しめくり上げると見やすくなります。



03

シェルを左右に動かして、シェルが動かないことを確認してください。

04

お子さまを乗せ降ろしする場合、後ろ向きになるまで回転させず、ドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので乗せ降ろしの際はご注意ください。



ポイント!

このまま後ろ向きモード、または前向きモードでご使用になる場合は、以下のページへとお進みください。

参照 P67-75 ▶後ろ向きモード、前向きモードでのお子さまの乗せかた

キャンノピー（キャンノピー付きモデルのみ）

アイ - スピン 360 マックス キャンノピー付きモデルには、日差しの向きにあわせて開閉して使用できるキャンノピーが付属しています。

⚠注意

ブースターモードではキャンノピーを使用することができません

3点式シートベルトに干渉するため、ブースターモードではキャンノピーを使用することができません。後ろ向きモード、前向きモードでのみ使用することができます。

回転機構に干渉する場合があります

車種や取り付けの状態、リクライニングの状態によっては、キャンノピーを取り付けたままシェルを回転させると、キャンノピーが干渉する場合があります。

破損のおそれがありますので、このような場合は、キャンノピーを取り外してシェルを回転させるようにしてください。

座席に干渉する場合はご注意ください

後ろ向きモードの場合は前座席の背もたれ部分、前向きモードの場合は座席のヘッドレストにキャンノピーが干渉する場合があります。このような場合は、座席、ヘッドレストを調節して干渉しないようにしてください。調節しても干渉する場合は、その座席ではキャンノピーを使用しないでください。

他の目的で使用しないでください

キャンノピーは本製品専用です。他のチャイルドシートに取り付けたり、他の目的では使用しないでください。

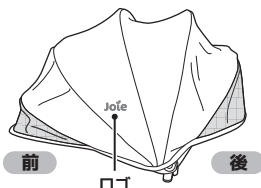
ヘッドサポートに干渉するようになったら使用を中止してください

ヘッドサポートを高い位置（12 段目程度）以上に調節すると、キャンノピーがヘッドサポートに干渉するようになります。ヘッドサポートに干渉するようになったらキャンノピーの使用を中止してください。

取り付けかた

01

下図を参照して、キャンノピーの向きを確認します。



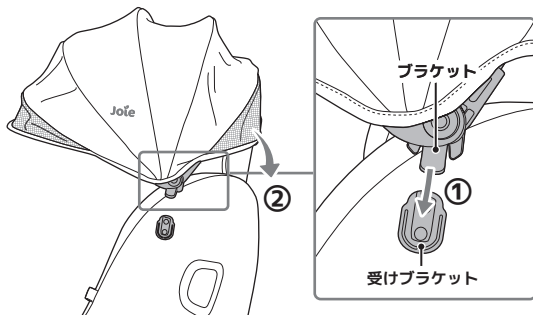
 **ポイント!**

ロゴの向きで前後を確認します。

キャンノピーは前後を間違えると取り付けることができません。

02

①キャノピー左右のブラケットを、シェル側面の受けブラケットに差し込みます。左右とも同じように奥までしっかりと差し込んでください。②キャノピーの後端をシェルに被せるようにします。



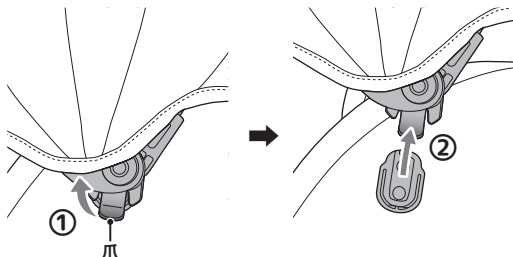
ポイント!

キャノピーの後端は、シェルに被せます。ヘッドサポートに被せないようにしてください。

取り外しかた

01

ブラケットの、①爪を引き上げて、②そのまま受けブラケットから抜き取ります。左右とも同じようにしてください。左右とも抜き取ってからキャノピーを取り外してください。



⚠ 注意

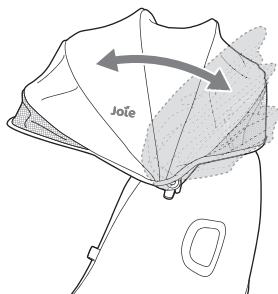
左右のブラケット両方を受けブラケットから抜いてからキャノピーを取り外してください

ブラケット片側のみ抜いた状態でキャノピーを取り外そうとしないでください。破損するおそれがあります。

使いかた

01

キャノピーは前後に開閉することができます。日差しの状況に応じて調節してご使用ください。



ブースターモードへの切り替えかた



身長が 100cm 以上かつ 3.5 歳以上のお子さまは本製品をブースターモードに切り替えて使用することができます(身長 150cm かつ 12 歳までご使用いただけます)。ブースターモードでは、お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを装着します。本製品のハーネス、バックルを使用しませんのでシェル内に収納する操作が必要となります。

後ろ向きモード、前向きモードとは使用方法が異なりますのでご注意ください。

⚠危険

ハーネス、バックルをシェル内に収納すること

ブースターモードでは本製品のハーネスとバックルを使用しません。ハーネスとバックルは、本書の指示に従ってシェル内の所定の場所に収納してください。

ハーネス、バックルが収納されていないとお子さまが不快になるばかりか、思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

インファントインサートを取り外します。

参照 P32 ▶インファントインサートの外しかた

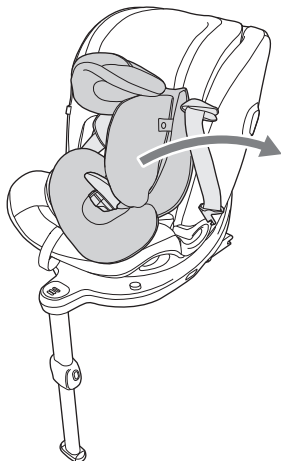
⚠注意

ブースターモードではインファントインサートは使用できません

ブースターモードで使用する際には、インファントインサートを取り外してください。

👉ポイント!

キャノピー付きモデルの場合は、キャノピーを取り外します。



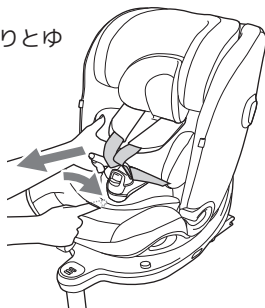
02

バックルを外して肩ベルトを最後までしっかりとゆるめておきます。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

ポイント!

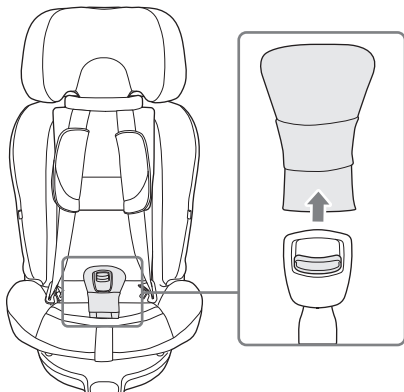
ブースターモードに切り替えるとベルトアジャスターの操作が困難になります。ヘッドサポートが一定以上の高さに調節できなくなるおそれがありますので、あらかじめの肩ベルトを最後までゆるめておいてください。



03

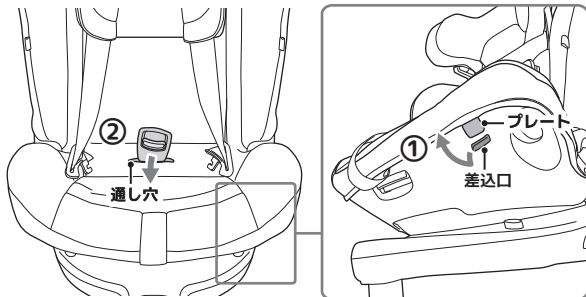
股ベルトカバーをバックルから抜き取ります。

ブースターモードでは本製品のバックルは使用しませんので、取り外した股ベルトカバーはお子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。



04

①シェル先端部でシートカバーを留めている左右の樹脂プレート（いずれか一方を抜き、②受けバックルをシートカバーの通し穴から抜き取ります。

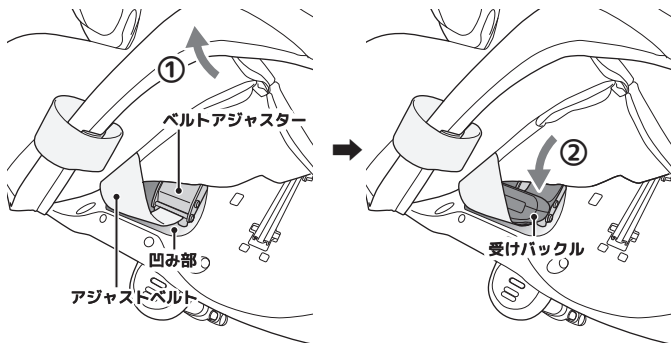


👉ポイント!

ここでは、左右両方のプレートを抜く必要はありません。

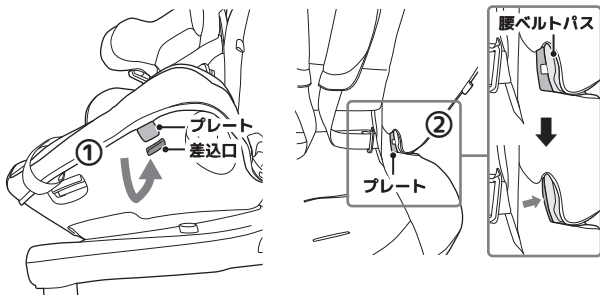
05

①シートカバーをめくり上げて、②受けバックルをベルトアジャスターのある凹み部にベルトアジャスターとアジャストベルトを重ねるようにして収納します。



06

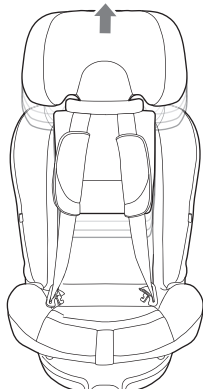
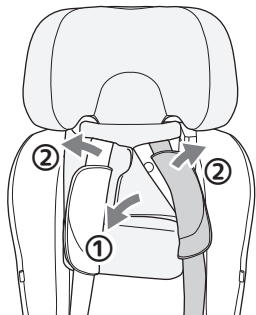
シートカバーをシェルに被せて、① 04 で外したプレート差込口に差し入れます。②シートカバーをシェルに被せた際に、腰ベルトパス部にはみ出している場合があります。このような場合には、プレートを腰ベルトパス部に押し込んでください。左右の腰ベルトパス部とも同じようにしてください。



07

ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。ヘッドサポートが途中で止ってしまう場合はベルトアジャスターを操作して、ハーネスをゆるめてください。

参照 P36-37 ▶ヘッドサポートの高さ調節

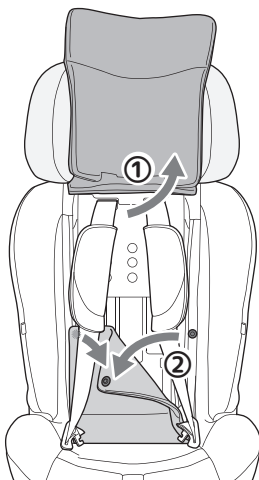


08

①ヘッドサポート下部の肩ベルトを通していている部分をめくり、②肩ベルトを外側に抜き出します。左右とも同じようにしてください。

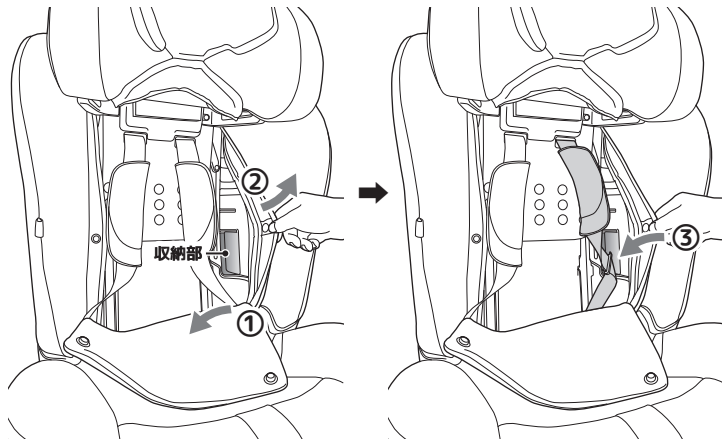
09

①ヘッドサポート下部を上をめくり上げ、②シートカバーの腰部分を左右で留めているホックボタンを外します。左右とも同じようにしてください。



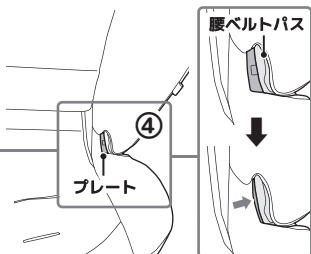
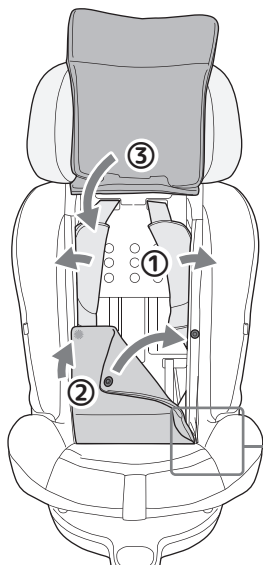
10

①ハーネスの腰ベルトをシートカバーの内側にして、② 09 で外したホックボタンあたりのシートカバーをめくって収納部を出します。
③収納部に差し込みタングを収納します。左右とも同じようにしてください。



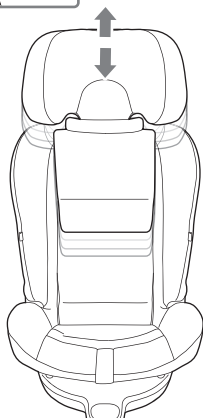
11

①ハーネス、肩ベルトパッドをシートカバーの内側にして、②09で外した左右のホックボタンを留めて、③ヘッドサポートの下部を下ろして被せます。④腰ベルトパス部に差し込んであるシートカバーのプレートがズレてはみ出している場合があります。このような場合には、プレートを腰ベルトパス部に押し込んでください。左右とも同じようにしてください。



12

右図のような状態になっていることを確認します。ヘッドサポートの調節がスムーズに操作できると、ヘッドサポートが最も高い位置まで調節できることを確認してください。



13

ブースターモードから後ろ向きモードまたは前向きモードに戻すには逆の手順を行ってください。

ポイント!

このままブースターモードご使用になる場合は、以下のページへとお進みください。

参照 P75-83 ▶ブースターモードでのお子さまの乗せかた

後ろ向きモード、前向きモードでのお子さまの乗せかた

後ろ向きモードと前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。乗せかた、降ろしかたの手順は同様ですが、後ろ向きモードと前向きモードでは適切な肩ベルトの高さが異なりますのでご注意ください。

危険

正しい向きで使用する

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を過ぎるまでは後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

警告

お子さまの乗り降りは本製品をシートに取り付けた状態で行うこと

お子さまを乗せたままで本製品の取り付け、取り外しを行わないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

準備と確認

01

お子さまの月齢、体格に合わせてインファントインサートを使用します。前向きモードでご使用になる場合は、インファントインサートは使用できませんので取り外してください。

ポイント!

お子さまの身長が 60cm を超えるまではインファントインサートの使用をお勧めします。

参照 P31-34 ▶インファントインサートの使いかた

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P45 ▶取り付けかた▶ 15 ▶チェックリスト

03

お子さまの成長や座面の角度に応じてリクライニングの角度を調節してください。

参照 P35 ▶リクライニングの使いかた

04

使用するシェルの向きの状態（後ろ向きモードまたは前向きモード）でサイドインパクトプロテクションがドア側になるように取り付けます。

参照 P29-30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた

05

お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P52-57 ▶シェルの回転

⚠注意

シートの動きに注意してください

シートは、前向きまたは後ろ向きでのみベースに固定されます。横向きの状態ではシートは安定しませんので、注意してお子さまの乗せ降ろしを行ってください。

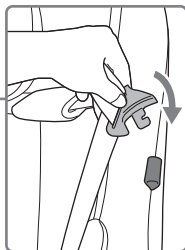
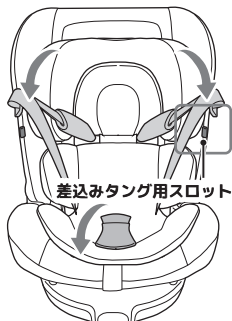
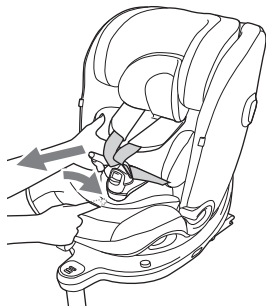


お子さまの乗せかたと降ろしかた

01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめてバックルを外しておきます。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01



02

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、差込みタング用スロットに差し込んでおきます。

股ベルトを前方に倒しておきます。

03

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。
背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の
間に入れます。



後ろ向きモードの場合



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

前向きモードの場合



⚠危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

04

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。左右の差込みタングを差込みタング用スロットから外して肩ベルトにお子さまの腕を通します。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてバックルを留めます。

⚠危険

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

肩ベルトにお子さまの腕を通す



腰ベルトを骨盤の上に通す

05

バックルが「カチッ」と音がして固定されていること、バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。

参照 P30-31 ▶バックルの使いかた

👉ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01



緑色のインジケーター

⚠危険

必ずバックルの状態を確認すること

差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。ハーネスが締め付けられている場合はさらに肩ベルトをゆるめてください。

後ろ向きモードと前向きモードでは適切な肩ベルトの高さが異なります。
下図を参照してご使用になるモードに応じてヘッドサポートを操作して肩ベルトの高さを適切に調節してください。

参照 P36-37 ▶ヘッドサポートの高さ調節

後ろ向きモードの場合



肩ベルトは、**お子さまの肩と同じ高さから少し低い位置**までの間で調節してください。

前向きモードの場合



肩ベルトは、**お子さまの肩と同じ高さから少し高い位置**までの間で調節してください。

ポイント!

肩ベルトの高さは使用毎に調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用前には確認するようにしてください。インファントインサートを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

07

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



⚠危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締めすぎるおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

👉ポイント!

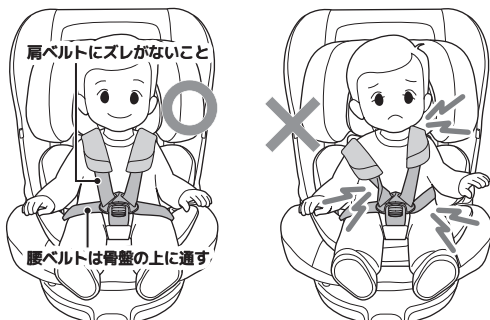
締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使って肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

08

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

ハーネスにねじれがなく、肩ベルトの高さが適切に調節されていて、肩ベルトパッドがお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るよう必ず確認し、正しくなるように調節してください。



⚠危険

ハーネスは正しい状態で使用すること

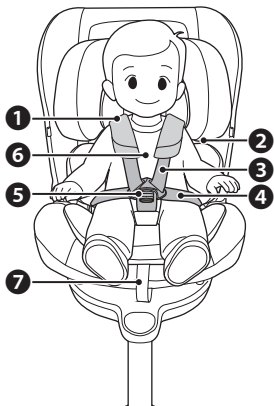
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、ねじれていたり、肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通過していたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通過していたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを参照して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

ポイント!

チェック項目は後ろ向きモードでも前向きモードでも同様です。



チェックリスト

① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること

※肩ベルトの適切な高さは、後ろ向きモードと前向きモードで異なります。

② インファントインサートが正しく取り付けられていること（または取り外されていること）

※身長 60cm まではインファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。

③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと

④ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

⑤ バックルがしっかりと留まっていること

⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること

⑦ リクライニングがお子さまの成長に応じて適切に調節されていること

危険

シェルを前向きにした使用は、お子さまの身長が 76cm を超え、かつ生後 15 カ月を超えてからです

上記条件を満たすまでは後ろ向きモードでのみ使用できます。前向きモードでは絶対に使用しないでください。なお前向きモードの使用可能な期間の終期まで後ろ向きモードでも使用することができます。

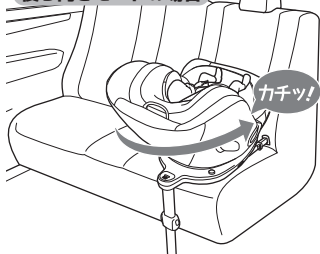
10

シートが横向き、または斜め向きになっている場合は「カチッ」と音がするまでシートを回転させて固定します。後ろ向きモードの場合は後ろ向き、前向きモードの場合は前向きにして固定してください。軽くシートを動かして、後ろ向きまたは前向きで確実に固定されていることを確認してください。

ポイント!

シェルを前向きに回転する場合は、回転する側の回転ロックボタンの操作が必要になります。

後ろ向きモードの場合



前向きモードの場合



身長 76cm 以上を超えてから

かつ、生後 15 ヶ月を超えてから使用可能

危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること
お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まれていると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。

シェルを確実に固定すること

シェルは後ろ向きまたは前向きにして確実に固定してください。シェルを横向きや斜めの状態にして使用してはいけません。

参照 P52-57 ▶シェルの回転



バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作がために設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。本製品の使用中は、乗り降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう普段から言い聞かせるようにしてください。

11

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

参照 P52-57 ▶シェルの回転

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまがハーネスなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

12

お子さまを降ろした後、バックルを留めて、シェルは後ろ向き、または前向きのいずれかにして固定しておいてください。

ブースターモードでのお子さまの乗せかた

ブースターモードでは、お子さまは自動車の座席の3点式シートベルトを装着します。本製品をISOFIX固定装置に固定して使用している場合も3点式シートベルトのみで使用している場合も、お子さまの乗せ降ろしの方法は同じですが、3点式シートベルトのみで使用している場合はお子さまを本製品から降ろすと本製品も座席の上で固定されていない状態になりますのでご注意ください。

⚠危険

お子さまの身長が100cmを超え、かつ3.5歳以上になってから使用すること
お子さまの身長が100cmを超え、かつ3.5歳以上になるまでは、後ろ向きモードまたは前向きモードでのみ使用可能です。

⚠警告

お子さまの乗り降りは本製品をシートに取り付け、または設置した状態で行うこと
お子さまを乗せたままで本製品の取り付け、取り外しを行わないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

準備と確認

01

本製品をブースターモードに切り替えます。

参照 P61-66 ▶ブースターモードへの切り替えかた

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていること、または正しく設置されていることを確認してください。

参照 P45 ▶取り付けかた▶ 15 ▶チェックリスト

参照 P49-51 ▶3点式シートベルトのみで使用する場合の設置

03

お子さまの成長や座面の角度に応じてリクライニングの角度を調節してください。

参照 P35 ▶リクライニングの使いかた

04

本製品を取り付け、または設置する座席のドア側になるようにサイドインパクトプロテクションを取り付けます。

参照 P29-30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた

05

シェルが前向きになっていない場合は、前向きの状態にして固定します。

参照 P52-57 ▶シェルの回転



⚠注意

ブースターモードでは原則としてシェルの回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルの回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。ブースターモードでシェルの回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルの回転させてください。

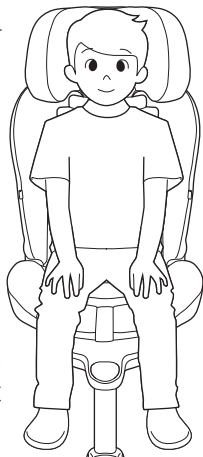
乗せかた

01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、シートの座面中央に座らせてください。

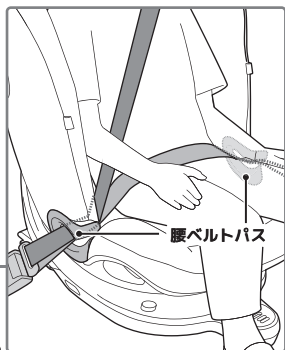
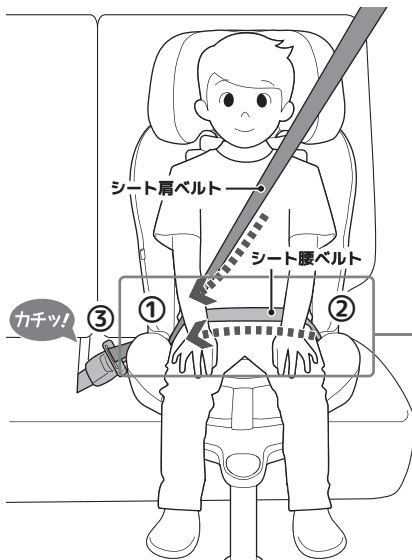
ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席にお子さまを乗せる場合を説明しています（お子さまの左手側に自動車のドアがある状態）。左側の座席に乗せる場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。



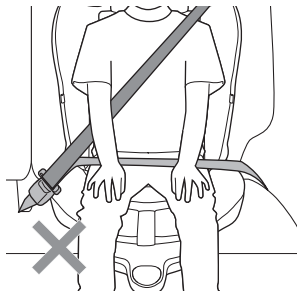
02

シートベルトをねじらないように注意して、①シートバックル側の腰ベルトパス（緑色で指示されています）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、③シートバックルを留めます。



⚠危険

シートベルトは腰ベルトパスを通すこと
シートベルトが腰ベルトパスを通っていない
と、お子さまが正しくシートベルトを装着でき
ず事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛
び出したり、過剰な負担がかかるおそれがあり
ます。

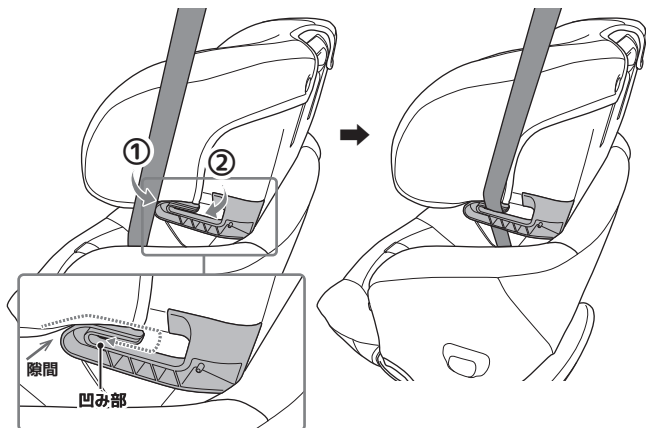


03

シート肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。

①ヘッドサポートと肩ベルトガイドの隙間からシート肩ベルトを差し入れ、
そのまま奥まで差し込み、②凹み部にシート肩ベルトを入れます。

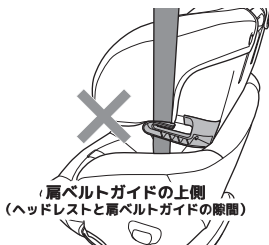
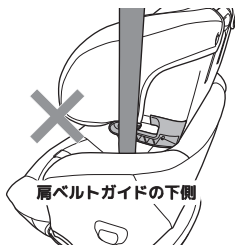
シート肩ベルトをねじらないように注意してください。



⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

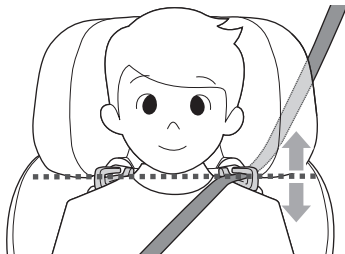
事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側や上側、また肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



04

シート肩ベルトの高さを適切に調節します。ブースターモードでは、肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平になる位置に調節してください。

高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節します。

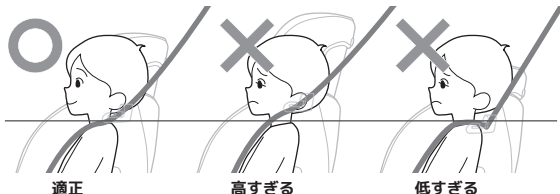


参照 P36-37 ▶ヘッドサポートの高さ調節

⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



05

シート肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合、お子さまの座る位置や3点式シートベルトのみで使用する場合は本製品を左右に動かして正しい位置にします。シート肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



正しい位置



内側に寄り過ぎ



外側に寄り過ぎ

⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正しい高さ、正しい位置になるようにして使用してください。

シート腰ベルトだけで使用しないこと

シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を使用してください。シート肩ベルトをシートの裏側に回したり、左右両方の腰ベルトパスにシート肩ベルトを通すなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

二点式のシートベルト（シート腰ベルトのみ）の座席では使用できません

ブースターモードでは、3点式シートベルトを使用します。中央席などに多い、腰ベルトのみのシートベルトが装備された座席では使用できません。

シート肩ベルトを正しく使用すること

肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。シート肩ベルトをお子さまの背中側にして使用しないこと。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが本製品のシート内で前方にずれる（お尻を前にずらす）と、肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。

本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意、確認してください。

06

シートベルトにねじれがないことを確認して、①シート腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠ 警告

シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと
事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通過していないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。

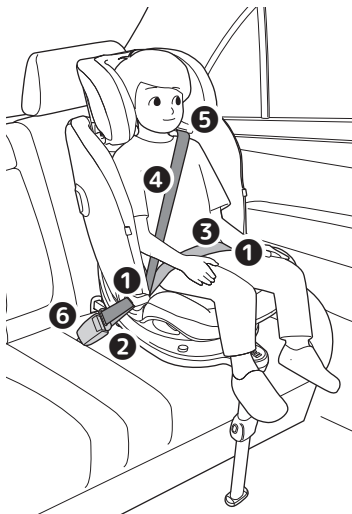


07

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

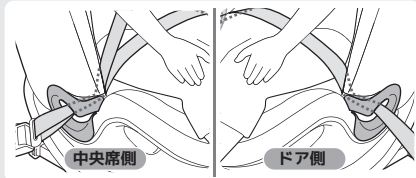
👉 ポイント!

チェック項目は ISOFIX 固定装置を使用している場合も、3 点式シートベルトのみで使用している場合も同様です。



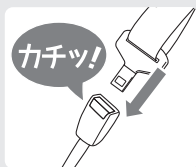
チェックリスト

① シートベルトが左右の腰ベルトパスを通っていること

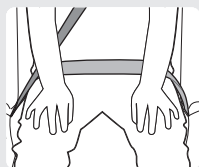


シートバックル側（中央席側）の腰ベルトパスにシート肩ベルトとシート腰ベルトが通っていること
ドア側（シート肩ベルトが通っている側）の腰ベルトパスにシート腰ベルトが通っていること

② シートバックルにシートタンクが確実に留まっていること

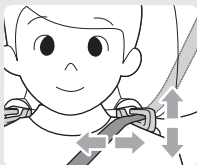


③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

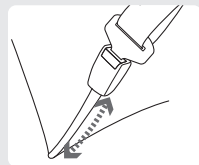


④ シートベルト（シート肩ベルト、シート腰ベルト）にねじれがないこと

⑤ 肩ベルトの高さが適切になっていること 肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること



⑥ シートバックルのベルトが長すぎる、または位置が高すぎる場合、腰ベルトパスにシートバックルが干渉するため、その座席では使用しないこと



08

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせるようにして、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまが成長すると、お子さまの体動や行為により、シートベルトやバックル、本製品の状態が使用中に変化することがあります。本製品が正しい状態になっているかを適宜確認するようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろするたびに、肩ベルト（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

09

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席から外して車外で保管してください。

注意

本製品を固定せずに車室内に放置しないこと

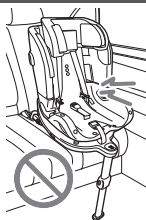
3点式シートベルトのみで本製品を使用している場合、お子さまを本製品から降ろすと本製品は座席に固定されません。適切な方法で本製品を固定するかトランクに収納するなどしてください。本製品を固定しないまま車室内に放置しないでください。

お手入れのしかた

お手入れのためにカバー類、肩ベルトパッド、股ベルトカバーを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー類を必ず取り付けなおしてください。
本製品を後ろ向きモードまたは前向きモードで使用する場合は、肩ベルトパッドと股ベルトカバーは必ず取り付けてください。

⚠危険



カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバー類を外した状態の本製品はお子さまの手の届かない場所で保管すること
お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。
お手入れ等のため、カバー類やパッド類、クッション類を取り外した場合、取り付け直すまでの間はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

⚠警告

内部機構に手を加えないこと

カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

⚠注意

可動部位に注意すること

手指を挟むおそれがありますので、カバー類の取り外し、取り付け操作時に本製品の可動する部位に注意してください。回転レバーやリクライニングレバーを操作するとシェルが動きますので、特にご注意ください。

股ベルトカバー、インファントインサート、肩ベルトパッド、カバー類の取り外し

👉ポイント!

取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に各作業をスマートフォンなどで撮影しておくとは後から操作が確認できて便利です。

ブースターモードで使用されている場合は、ヘッドサポートカバーとシートカバーのみの取り外しを行います。

⚠️注意

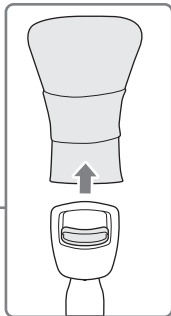
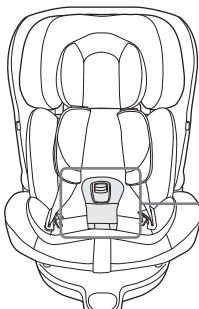
安全な場所で作業すること

自動車内に固定したままカバー類や肩ベルトパッド、インファントインサートの取り外しを行わないでください。ケガや破損、故障につながるおそれがありますので、室内の安全な場所でお子さまを近づけずに作業するようにしてください。

股ベルトカバー

01

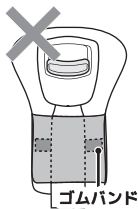
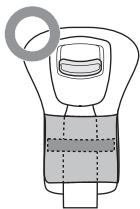
バックルを外して、インファントインサートの通し穴と受けバックルから股ベルトカバーを抜き取ります。



👉ポイント!

股ベルトカバーの取り付けは逆の手順で行います。図のように受けバックル（股ベルト）がゴムバンドの下側になるようにして取り付けてください。

また、インファントインサートをお使いの場合には、インファントインサートの股ベルトの通し穴に股ベルトカバーの下部をしっかりと押し込んでください。

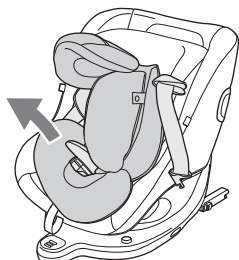


インファントインサート

01

インファントインサートを取り付けて使用している場合は取り外します。

参照 P32 ▶インファントインサートの外しかた



02

インファントインサートをお手入れするには、以下を参照してください。

参照 P33-34 ▶インファントインサートのお手入れ

⚠注意

クッションは洗濯できません

お手入れの際には、クッションを取り外してください。

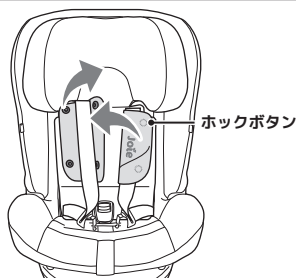
肩ベルトパッド

01

あらかじめバックルを外しておきます。

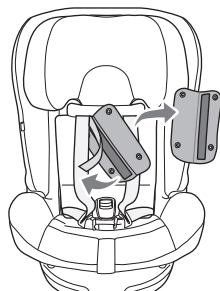
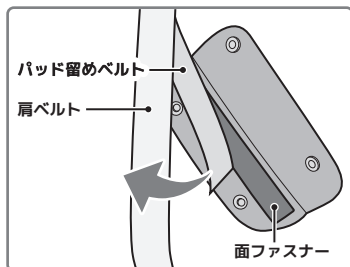
02

肩ベルトパッドのホックボタンを外して肩ベルトパッドを開きます。左右とも同じようにしてください。



03

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側（裏側）のパッド留めベルトを留めている面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外すことができます。

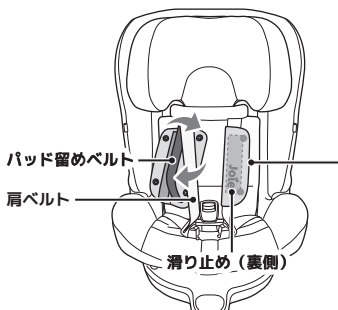


04

肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。下図を参照してください。Joie のロゴのある肩ベルトパッドが向かって右側になります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトの下側にあるパッド留めベルトに留めてください。



ホックボタンがない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

ヘッドサポートカバー

 **ポイント!**

肩ベルトパッドの取り外しから続けての操作を説明しています。

01

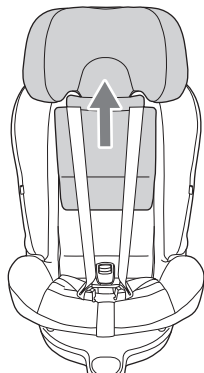
ヘッドサポートを高い位置に調節します。

参照 P36-37 ▶ヘッドサポートの高さ調節

 **ポイント!**

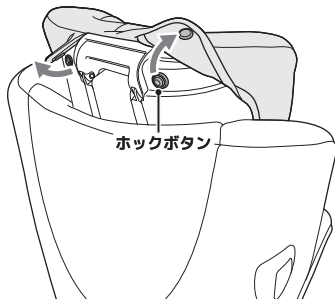
ハーネスが引っかけたてヘッドサポートを高い位置に調節できない場合は、ハーネスをゆるめてから操作しなおしてください。

参照 P34 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01



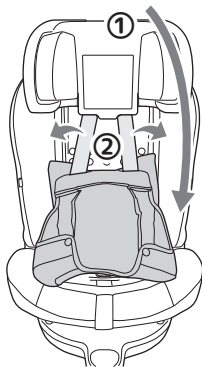
02

ヘッドサポート後部でヘッドサポートカバーを留めているホックボタン(2カ所)を外します。



03

- ①ヘッドサポートカバー上部を前方にめくって外し、
- ②肩ベルトを外してヘッドサポートカバーを取り外します。



⚠注意

慎重に作業してください

ヘッドサポートカバーが引っかった感じがする場合は無理をせず、引っかった場所がないか確認するようにしてください。

ヘッドサポートの内側に取り付けられている、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

シートカバー

01

サイドインパクトプロテクションが取り付けられている場合は、取り外しておいてください。

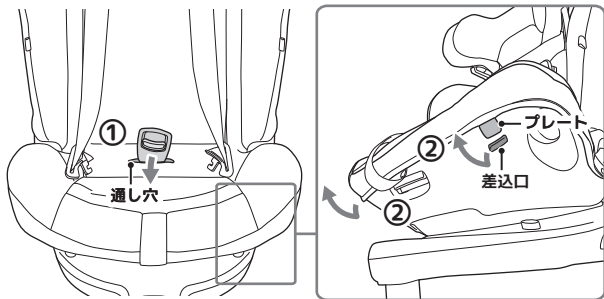
参照 P30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた▶ 02

👉ポイント!

サイドインパクトプロテクションが取り付けられた状態でシートカバーの取り外しはできません。

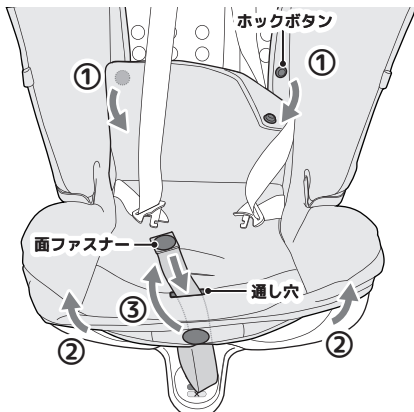
02

①受けバックルをシートカバーの通し穴から抜き、②シェル先端部の左右の差込口でシートカバーを留めている樹脂プレートを抜きます。左右とも抜いてください。



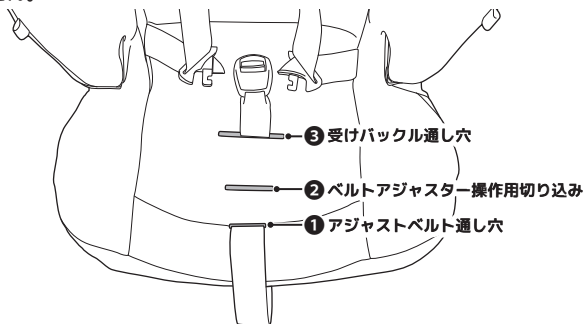
03

①シートカバーの背もたれ内側の左右あたりに留めてあるホックボタンを外します。左右とも外してください。②シェルの先端部のシートカバーをめくり上げます。③シートカバー先端部の裏側に留めてあるアジャストベルト先端の面ファスナーを外して、そのままシートカバーの通し穴から抜き取ります。



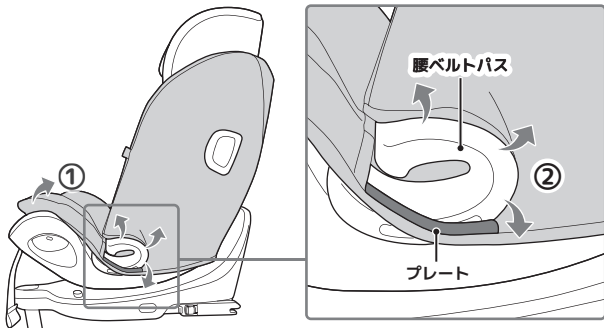
ポイント!

シートカバーを取り付け直す際に、通し穴を間違えないように注意してください。シートカバーの座面部には、通し穴（切り込み）が3ヵ所あり、座面先端部から順に、①アジャストベルト通し穴、②ベルトアジャスター操作用の切り込み、③受けバックル通し穴が並んでいます。②ベルトアジャスター操作用の切り込み、には何も通しません。



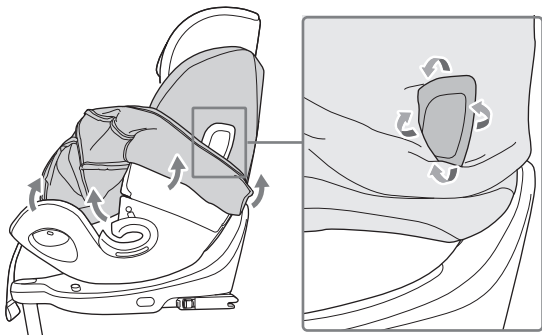
04

①シートカバー前端部をめくり上げ、②腰ベルトパスの下部に差し込んであるシートカバーのプレートを外して、肩ベルトガイドの周囲にたくし込んであるシートカバーを外します。左右とも同じようにしてください。



05

シートカバーの下部の縁を上方向にめくってシェルから外します。
左右の SIP スロットの周囲にたくし込まれているシートカバーの生地を外
します。左右とも同じようにして外してください。



06

シートカバーを引き上げながらヘッドサポート
をシートカバーの隙間から抜くようにしてシー
トカバーを外します。

ポイント!

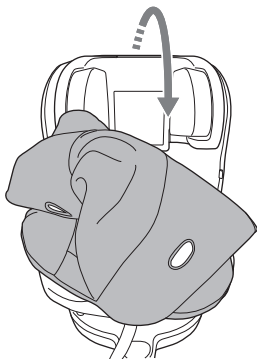
シートカバーがヘッドサポートから抜きにくい場合
は、ヘッドサポートの高さを調節してください。

参照 P36-37 ▶ヘッドサポートの高さ調節

警告

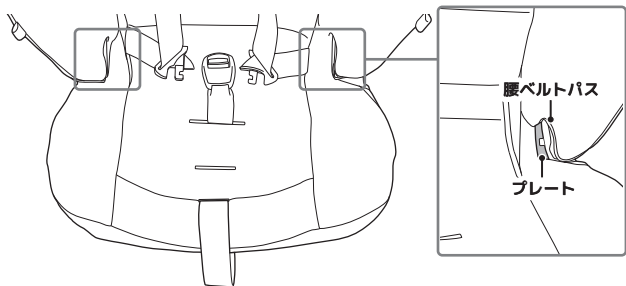
内部機構に手を加えないこと

カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状
態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手
を加えたり触らないようにしてください。また、内
部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがあ
りますので、カバー類を取り外したシェルには毛布
を被せるなどしておいてください。

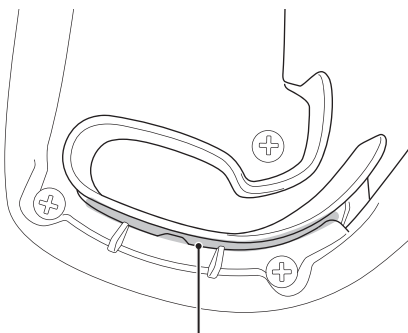


シートカバー取り付け時の注意事項

シートカバーの取り付け時、左右の腰ベルトパスの下側にシートカバーのプレート差し込んでください。

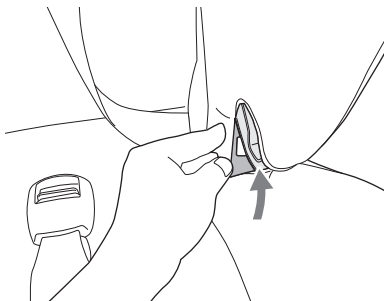


シートカバーのプレートは、下図のグレーで示した位置に差し込みます。



図は、シートカバーを取り外した状態で、腰ベルトパス部を内側から見た状態です。グレーで示した場所にプレートをはめるように差し込んでください。

プレートを差し込みにくい場合、腰ベルトパスの前方（シェル座面先端側）から、滑らせるように差し込んでください。プレートが腰ベルトパスに隠れるまでしっかりと押し込むようにします。



⚠注意

正しく取り付けること

本製品が安全に機能しなくなりますのでシートカバーは正しく取り付けてください。腰ベルトパス部のプレートをしっかりと差し込み、腰ベルトパスおよび SIP 周囲にシートカバーの生地をたくし込んでしっかりと留めてください。

股ベルトカバー、インファントインサート、肩ベルトパッド、カバー類のお手入れ

取り外した股ベルトカバー、インファントインサート、肩ベルトパッド、シートカバー、ヘッドサポートのカバー、肩ベルトパッドとインファントインサートは、お手入れすることができます。カバー類に縫い付けてある洗濯表示に従ってお手入れしてください。

⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

お手入れの前に取扱説明書を取り出すこと

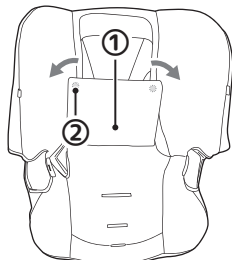
お手入れする前にシートカバーに保管してある取扱説明書（本書）を忘れずに取り出してください。お手入れが終わりシートカバーをシェルに取り付けたら取扱説明書（本書）を忘れずに取扱説明書ホルダーに戻しておいてください。

👉ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

洗濯機で洗濯可能

- ①お手入れの際には取扱説明書を取り出してください。
- ②ホックボタン（左右）を留めてお手入れしてください。



シートカバー

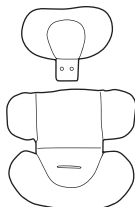


ホックボタンを留めてお
手入れしてください。

肩ベルトパッド

股ベルトカバー

インファントインサート



クッションは洗濯できません。



ヘッドサポートカバー

- ① **液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）**
洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30℃以下の水温で手洗いしてください。
また、ヘッドサポートの下部（樹脂プレート）が変形するおそれがありますので、力が掛からないようご注意ください。
- ② **漂白剤は使用しないでください**
劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので漂白剤は使用しないでください。
- ③ **タンブラー乾燥をしないでください**
破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。
- ④ **日向で吊り干ししてください**
型崩れしないよう、しっかりと開けてください。
- ⑤ **アイロンは使用しないでください**
破損、縮み、溶けの原因となります。
- ⑥ **ドライクリーニングしないでください**
変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。
- ⑦ **固定可能なホックボタン、面ファスナーは留めてください**
生地を傷つけるおそれがあります。固定できない場合は布で覆うなどしてください。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

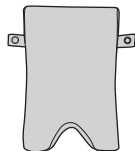
型崩れ、変形の原因となります。

水洗いできません

インファントインサートのクッション、キャノピー（キャノピー付きモデルのみ）は、洗濯機や水に浸けて洗うことはできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

インファントインサート



クッション

お手入れ後の取り付け

肩ベルトパッド、カバー類、インファントインサートはよく乾かしてから取り付けしてください。

本体（ベース・シェル）のお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。



指定外の方法で洗浄しないこと

指定外の方法で洗浄すると、破損や故障の原因になります。

洗剤類は使用しないでください

洗剤、洗浄液などは使用しないでください。含まれる成分によっては樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきの使用には注意してください

含まれる成分によっては樹脂や生地、特に衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

ISOFIX コネクター・サポートレッグ

ISOFIX コネクター、サポートレッグ、自動車の ISOFIX 固定装置は常に清潔を保つようにしてください。

01

表面の汚れは、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。



水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等の物質が付着すると ISOFIX による固定に影響を与えて思わぬ事故につながるおそれがあります。

金属部分

01

バックルおよび ISOFIX コネクター、サポートレッグを除く金属部分は、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水に浸し良く絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス（ベルト類）

01

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターベルトは取り外しできません。お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

バックル（受けバックル、差込みタング）

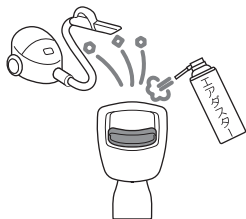
01

バックル類は取り外しできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

02

受けバックルの内側は市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無についてご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は自動車から取り外しておいてください。

ゴミやほこりがバックル内に入らないように保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所や露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従って正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	Joie チャイルドシート アイ-スピン 360 マックス		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名
	お名前 電話番号 - -		住所 電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
- ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製品のほつれの場合
- ・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
 - ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2507_03